EPSON
EXCEED YOUR VISION

410423100

Printed in XXXXXX XX.XX-XX XXX

Epson Rangefinder Digital Camera R-D1s 取扱説明書

EPSON

EPSON
EXCEED YOUR VISION

Epson Rangefinder Digital Camera

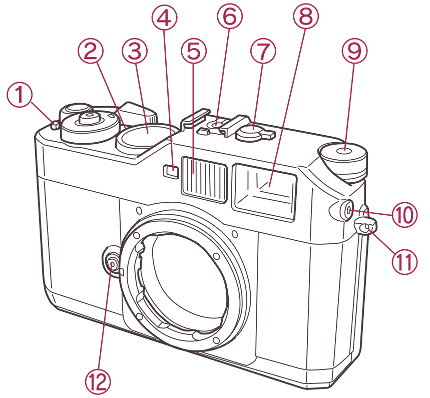
R-D1s

取扱説明書

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

各部の名称とはたらき

■ 正面・上面・底面・左側面



① 電源スイッチ

電源をON ／ OFF します。

② シャッターダイヤルロック解除ボタン

シャッター速度ダイヤルを「AE」に設定したときには、ダイヤルが上記の位置でロックされます。シャッター速度ダイヤルを回すときは、ロック解除ボタンを押してロックを解除します。

③ 針式インジケータ

撮影可能枚数／画像品質／ホワイトバランス／バッテリ残量を表示します。

④ 距離計窓

ファインダーの中に表示される距離計窓です。

⑤ 採光窓

ファインダーの中に光を取り入れるための採光窓です。

⑥ アクセサリーシュー

外部フラッシュや外付けファインダーなどを装着します。

⑦ ファインダー画角設定レバー

使用するレンズに合わせてファインダーの画角を設定します。

⑧ ファインダー窓

ここから画像を確認します。

⑨ JOGダイヤル（本書では と表記します。）

項目や機能を選択するときに使用します。ダイヤルは上下2段式になっていて、用途によって上下位置を切り替えて使用します。

⑩ シンクロターミナル（X接点）

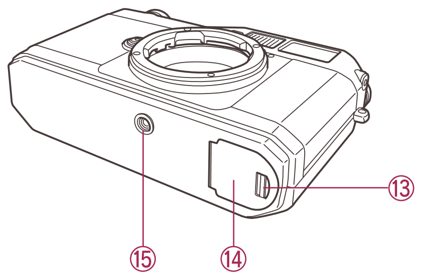
外部フラッシュを装着するとき使います。

⑪ ストラップ取り付け部

本機に付属のネックストラップを取り付けます。

⑫ レンズ着脱ボタン

レンズを取り付けたり、取り外すときに押します。



⑬ ロックレバー

バッテリカバーが不用意に開かないようにします。

⑭ バッテリカバー

バッテリをセットします。

⑮ 三脚用ネジ穴

三脚を取り付けます。

■ 背面・右側面

① ファインダー接眼窓

ここから画像を確認します。

② シャッターレリーズボタン

半押し：撮影モードの場合は、指を離してから約12 秒間露出計が作動します。
　　　　節電中や再生モードになっている場合は、撮影モードに復帰します。
全押し：シャッターが切れます。
　　　　（撮影します。）

③ シャッター速度ダイヤル／ISOダイヤル

シャッタースピードやISO感度を設定します。

④ シャッターチャージレバー

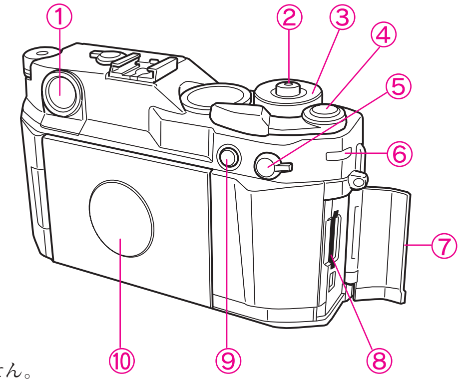
シャッターを元の位置に戻し、撮影可能な状態にします。

⑤ 画像品質／ホワイトバランス設定レバー

画像品質やホワイトバランスを設定するとき使用します。

⑥ アクセスランプ（赤色）

本機とメモリーカードの状態を示しています。
・点灯：メモリーカードにアクセスしています。
・点滅：メモリーカードエラーが発生しています。
・消灯：メモリーカードにアクセスしていません。



⑦ メモリーカードカバー

SDメモリーカードやメモリーカードスロットを保護します。

⑧ SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードを挿入します。

⑨ AE ロックボタン

シャッターを半押ししてボタンを押すと、ボタンを押している間、露出が固定されます。

⑩ 焦点距離変換表

35mm版カメラ用レンズを本機で使用した場合の焦点距離を示します。

■ 液晶モニタ

① 液晶モニタ表示ボタン（本書では[IOI]と表記します。）

液晶モニタに画像を表示させます。
（もう一度[IOI]を押すと撮影モードに復帰します。）

② MENUボタン（本書では[M]と表記します。）

機能選択メニューが表示されます。

③ ENTERボタン（本書では[↵]と表記します。）

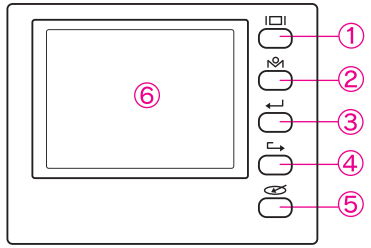
選択項目や設定内容を確定するとき押します。

④ CANCELボタン（本書では[↳]と表記します。）

操作を中止して1つ前の画面に戻るとき押します。

⑤ USERボタン（本書では[⊘]と表記します。）

画像削除や拡大など、いくつかの機能の中から
お好みの機能を割り当て、実行することができます。

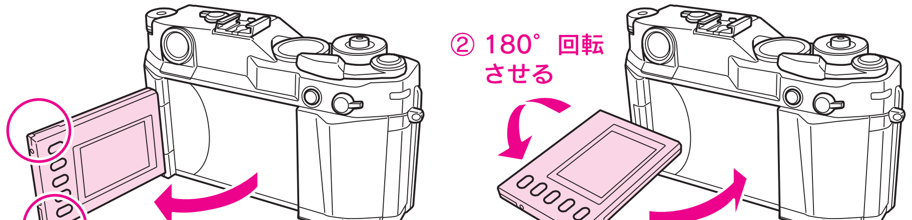


⑥ 2.0型低温ポリシリコンTFTカラー液晶モニタ（23.5万画素）

設定画面や画像データを表示します。

■ 液晶モニタの反転

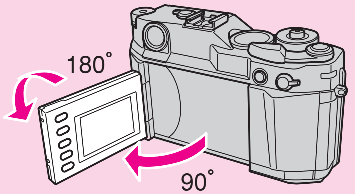
液晶モニタは、下図の手順で反転させます。



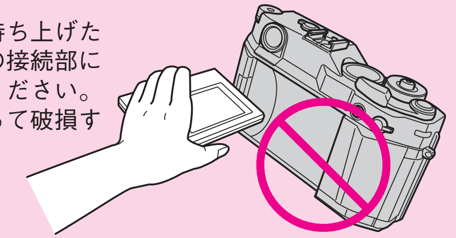
注 意

・液晶モニタを引き出したまま放置しないでください。

・液晶モニタの稼動する方向と角度は右図のとおりです。可動範囲外へ無理に回さないでください。



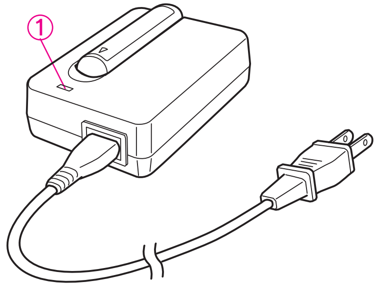
・液晶モニタをつかんで持ち上げたり、液晶モニタと本体の接続部に力を加えたりしないでください。本機の過重や負荷によって破損するおそれがあります。



■ 充電器

① 充電ランプ（赤）

バッテリの充電状態を表示します。
・**点灯**：充電中であることを示します。
・**消灯**：充電完了、または、バッテリがセットされていないことを示します。
・**点滅**：充電異常を示します。バッテリを取り外し、充電を中止してください。



エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2005. 6（A）

安全にお使いいただくために

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

🛇	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	🛇	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
🛇	この記号は、分解禁止を示しています。	🛇	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。

■本体の取り扱いについて

⚠警告	
太陽や強い光に向けて撮影しないでください。 目に傷害を起こすおそれがあります。	🛇
ファインダーから太陽を見ないでください。 目に傷害を起こす可能性があります。	🛇
目の近くでフラッシュを発光しないでください。 目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m 以上離れてください。	🛇
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因になります。	🛇

⚠警告
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因になります。 すぐに本体からバッテリを抜いて、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 故障・感電・火災の原因になります。
落下などの衝撃を与えないください。 光学部にガラスを使用しているため、ガラスが飛び散る場合があります。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因になります。
開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因になります。
布団などで覆った状態で使用しないでください。 熱がこもってケースが変形したり、火災・感電のおそれがあります。
可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。（電源をオフにしてください。） 引火・爆発の原因になります。
歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。 転倒・交通事故などの原因となります。
小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。 また、ストラップが首に巻き付いて窒息したり、バッテリを飲み込んでしまうおそれがあります。
指定されているリチウムイオンバッテリ以外は使用しないでください。 感電・火災の原因となります。

⚠警告	
航空機内や病院などの使用を制限された区域では、現場の指示（機内アナウンス等）に従ってください。	
不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）や、他の機器の振動が伝わる所など、振動しがちな場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。	
本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。特に小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。	

⚠注意	
本機のレンズ取り付け部の内側に指を入れたりシャッター部分やCCD センサ部分に指で触れたりしないでください。けがをするおそれがあります。	
本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。	

■バッテリと充電器の取り扱いについて

⚠危険	
分解や改造はしないでください。けがや感電、火災の原因になります。	
バッテリの十と一を針金などの金属で接続（ショート）しないでください。発熱・発煙・発火・破裂の原因となります。	
バッテリは金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。発熱・発煙・発火・破裂したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。	
バッテリの端子にハンダ付けをしないでください。発熱・破裂・発火の原因となります。	

⚠危険	
バッテリを火のそば、ストーブのそばなど高温の場所（80 ℃以上）で使用したり、放置しないでください。 発熱・破裂・発火の原因となります。	⃠
バッテリを火のそばや炎天下などで充電しないでください。 高温になると充電できなくなったり、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。	⃠
バッテリを他の機器や他の用途に転用しないでください。 バッテリを損傷させたり、機器を損傷させたりすることがあります。	⃠
バッテリに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液の原因となります。	⃠
バッテリが漏液して液が目に入った時は、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。 放置すると液により目に障害を与える原因となります。	⃠
バッテリを使用中、充電中、または保管中に異臭が生じたり、発熱したり、変色、変形、漏液、その他今までと異なることに気がついた時は、機器から取り外し、使用しないでください。 そのまま使用すると、発煙・破裂・発火の原因となります。 すぐに本体から電源を抜いて、また電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。	⃠

⚠警告	
バッテリの金属部分にはさわらないでください。 感電・火災の原因となります。	⃠
指定されているリチウムイオンバッテリ以外は使用しないでください。 感電・火災の原因となります。	⃠
小さなお子さまの手の届くところには、保管・放置しないでください。 バッテリを飲み込んでしまうおそれがあります。	⃠

⚠警告	
バッテリを車の電源コンセントや車のシガレットコンセントに直接接続しないでください。 感電・火災の原因となります。	
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。 感電・火災の原因となります。	
電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。 感電・火災の原因となります。	
バッテリの向きを逆にしてカメラに入れないでください。	
可燃ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。 引火、爆発の原因になります。	
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電･火災の原因になります。 すぐに充電器から電源を抜いて、また電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。	
付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災の原因になります。	
表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。 指定外の電源を使うと、感電･火災の原因となります。	
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し火災の原因となります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。	

⚠ 警告

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

■液晶モニタについて

⚠ 警告

液晶モニタが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し石鹸でよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

正しくお使いいただくために

■本体の取り扱いについて

● 本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 湿度変化の激しい場所
- ほこりや塵の多い場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 水に濡れやすい場所
- 直射日光の当たる場所
- 揮発性物質のある場所
- 火気のある場所
- 温度変化の激しい場所
- 振動や衝撃のある場所
- 強い磁気の近く（スピーカーの近くなど）

● 本製品は、以下の環境で使用してください。

- 温度 5 ℃～ 35 ℃（動作時）／ - 20 ℃～ 60 ℃（保管時）
- 湿度 30 %～ 80 %（動作時、非結露）／ 10 %～ 80 %（保管時、非結露）

● 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。動作不良や故障の原因となり、けがをするおそれがあります。また、光学精密製品のため、撮影ができなくなったり、距離計に誤差が生じる可能性があります。

● 本機のレンズ取り付け部の内側に指を入れたり、シャッター部分や CCD センサ部分に指で触れたりしないでください。本機が正常に機能しなくなる可能性があります。

● テレビ･ラジオに近い場所では使用しないでください。本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合していますが、微弱な電波は発信しております。お近くのテレビ･ラジオに雑音を与えることがあります。

■バッテリの取り扱いについて

● 購入時にバッテリ残量が残っていることがありますが、お使いいただく前に充電することをお勧めします。

● 本機を使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただくときは、直前（1 日～ 2 日前）にバッテリを充電することをお勧めします。

● バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。

● 充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。

● 充電は、周囲の温度が０ ℃～４０ ℃の場所で行ってください。低温で充電すると十分な充電ができません。また、高温で充電するとバッテリを劣化させるおそれがあります。

● バッテリを長くもたせるためには、できるだけこまめに本機の電源をオフにすることをお勧めします。

● バッテリの特性上、十分に充電された状態でも寒冷地では使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて暖めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。

● このバッテリは、常温で使用した場合、約 400 回繰り返し充電することができます。(使用条件によって異なることがあります。)十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお買い求めください。

■「つゆつき」について

寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、本機の内部に水滴が生じる(結露する)ことがあります。内部に結露が生じた状態で使用すると故障することがあります。寒いところから暖かいところへ持ち込むときは、できるだけ本機を密閉し周囲の温度になじませてから取り出してください。

■液晶モニタについて

● 一部に常時点灯または常時点灯しない画素が存在することがあります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

● 液晶モニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。

● AM ラジオやチューナーの近くでは使用しないでください。雑音電波の影響を受けることがあります。

■データの保護について

● 本製品は精密電子機器ですので、強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で使用、保管しないでください。データが壊れたり消失することがあります。

● データの書き込み、読み込み中に、振動を与えたり、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データが壊れたり消失することがあります。

● メモリーカードをセットした後は、取り出すときまで、必ずメモリーカードカバーを閉じておいてください。カバーを閉じておくことで、メモリーカードおよびメモリーカードに記録されているデータを静電気から守ります。

● 本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
身体からの静電気は、データを消失・破損させるおそれがあります。

■動作確認とバックアップのお勧め

● 本製品や添付のソフトウェアを使用中、万一不具合により撮影できなかった場合による撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
大切な撮影の前には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に動作することを確認してください。

● 本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、本製品やメモリーカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。

次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。
•静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
•誤った使い方をしたとき
•故障や修理のとき
•天災による被害を受けたとき
なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責任も負いません。

■その他

● 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、エプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

● エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

● メモリーカードの特性上、「削除」「消去」「フォーマット」などを行った場合でも、メモリーカード内のデータは完全に消去されてはいません。メモリーカードを譲渡、廃棄する際にデータが流出するおそれがあります。メモリーカードを廃棄するとき、譲渡するとき、貸すとき、修理に出すときなど、個人的な写真データを見られたくないときは、メモリーカードを本機で「完全フォーマット」（☞ 99 ページ）してください。

● レンズキャップを外した状態でレンズを太陽に向けないでください。太陽光線によりシャッター膜を傷めるおそれがあります。

● レンズ保護のため、撮影後はレンズキャップをつけてください。

目次

1 章　準備

2 章　撮影

3 章　再生

4 章　設定

5 章　データ保存・活用

6 章　インストール

7 章 こんなときは

8 章　付録

本機の特長

本機「Epson Rangefinder Digital Camera R-D1s」は、約 600 万画素、EM マウント（ライカ社M型互換マウント）のレンジファインダー式デジタルカメラです。デジタルカメラでありながら、35mm版レンジファインダー式カメラのような操作感で撮影することができます。

◆ファインダー

■暗い場所でも正確・迅速

レンジファインダー式カメラでは、暗いレンズをつけてもファインダーは明るいままです。常にほぼ肉眼に近い明るさでピント合わせが可能なので、室内や夜間の撮影では特に威力を発揮します。

■完全等倍ファインダー

被写体をよりダイレクトに感じることのできる、専用設計の完全等倍ファインダーを装備しています。左眼で空間全体を感じながら、右眼で見える空間を切り取ることができます。

■レンズを交換しても変わらない性能

一眼レフ式カメラでは、広角レンズや暗いレンズをつけるとピントの山がつかみづらく、合わせにくくなる傾向があります。レンジファインダー式カメラなら常に安定したピント合わせが可能です。

■パララックス自動補正による正確なフレーミング

本機のファインダーに内蔵されたフレーム（画角を示す枠）の場合、パララックスが自動的に補正されます。

◆メカニズム

■決定的瞬間を見失わない

レンジファインダー式カメラでは、一眼レフ式カメラのようにシャッターを切った際に視野が消えることはありません。撮影の瞬間を見る、この当たり前のことを実現することができます。

■動作ショックが少ない

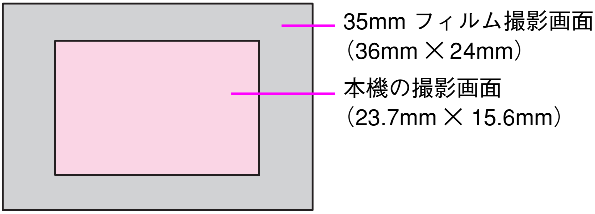
レンジファインダー式カメラでは、撮影時は静かにシャッターが動くだけです。ミラーやレンズの絞りなどが複雑に連動する一眼レフ式カメラに比べて動作ショックが少なくなります。

■見やすい針式インジケータ

バッテリ残量、撮影残枚数、ホワイトバランス、画像品質などを、見やすい針式で表示しています。針式インジケータによって、本機の状態を簡単に把握することができます。

■ APS-C サイズの CCD

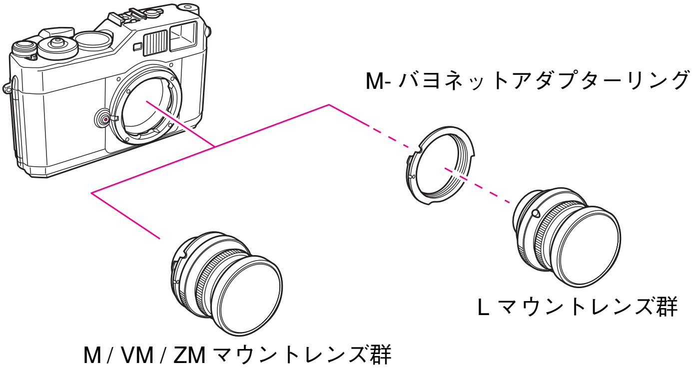
本機の CCD サイズは、23.5 × 15.6mm（APS-C サイズ）です。35mm 版カメラの撮影画面より小さいため、35mm 版カメラ用のレンズを本機に取り付けると、焦点距離は約 1.53 倍となります。（各レンズの焦点距離については「対応レンズ例」☞ 135 ページをご確認ください。）



◆レンズ

■レンズ資産が生きる EM マウント

膨大な数が流通している M / VM / ZM マウントレンズ群、L マウントレンズ群（コシナ社製「M- バヨネットアダプターリング」が必要）などを装着することができます。（「対応レンズ例」☞ 135 ページ）



メ モ	同じレンズを使用した場合でも、フィルムカメラで撮影した画像とは画質が異なる場合があります。

本書について

このたびは、弊社製品「Epson Rangefinder Digital Camera R-D1s」をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書には本製品を正しく安全にお使いいただくための使い方が記載されています。本書をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しくお使いください。

また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、すぐに見ることができる場所に「保証書」とともに大切に保管してください。

■本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

注意	必ず知っておいていただきたいことを記載しています。
メモ	知っておくと便利なことを記載しています。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。

(2) 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。

(4) 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

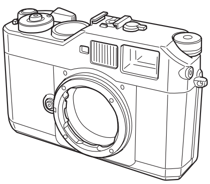
(5) 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

(6) 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

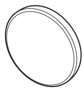
1 章　準備

付属品の確認

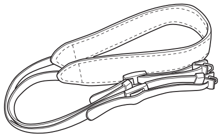
次のものが同梱されていること、それぞれの部品に損傷がないことをお確かめください。万一不都合がございましたら、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。



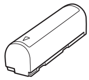
本体



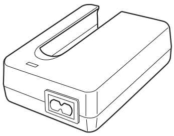
レンズ部カバー



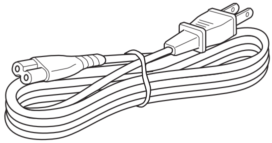
ネックストラップ



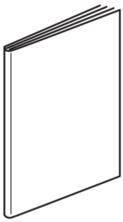
専用リチウムイオン
バッテリパック



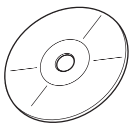
急速充電器



充電器用電源コード



取扱説明書（本書）

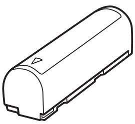


CD-ROM

※このほかにも各種ご案内などが同梱されている場合があります。

◆オプション品のご案内

本機には、オプション品（別売品）として、次のものをご用意しております。

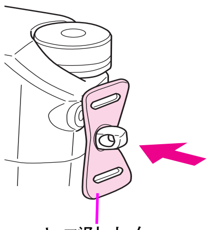


専用リチウムイオンバッテリパック
（型番：EPALB1）

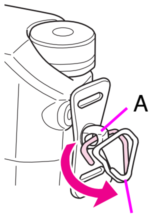
◆ネックストラップの取り付け

ネックストラップからキズ防止布やストラップ金具などを取り外し、以下の手順で本体に取り付けます。

1 **ストラップ取り付け部にキズ防止布をはめ込む**

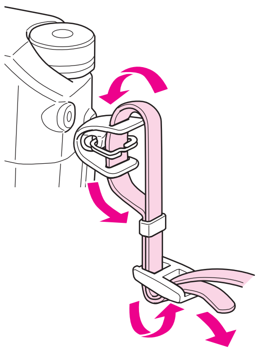


2 **ストラップ金具をA部に差し込み、回転させる**



3 **ストラップを右図のように通す**

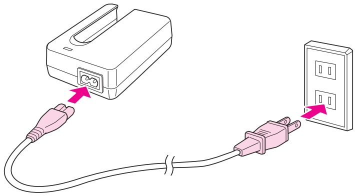
ストラップが右図のように通ったら、取り付け完了です。



バッテリの充電

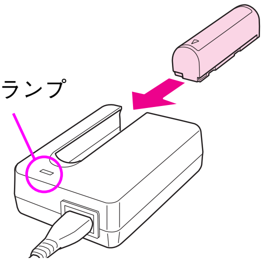
付属の専用リチウムイオンバッテリパック(型番:EPALB1)はお使いいただく前に必ず充電してください。充電は約 3時間で終了します。

1 充電器本体とコードを接続し、プラグをコンセントに差し込む



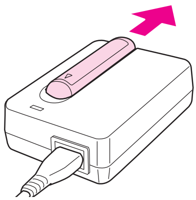
2 充電器にバッテリをセットする

バッテリをセットすると、自動的に充電が始まり、充電ランプが赤色に点灯します。



3 充電ランプが消灯したら、バッテリを取り外す

充電後は充電器のプラグをコンセントから抜きます。



注　意
充電ランプが点滅する場合は、充電異常を示しています。
バッテリを取り外し、充電を中止してください。(☞ 125 ページ)

メ　モ
- 充電ランプ（赤）が点灯しているときは、「充電中」を示しています。
- 充電時間は、周囲の温度やバッテリの状態によって異なります。

注 意

- 本機の専用バッテリ（型番：EPALB1）以外は充電しないでください。
- 本機を使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただくときは、直前（1 日～ 2 日前）にバッテリを充電することをお勧めします。
- バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。
- 充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、周囲の温度が 0 ℃～ 40 ℃の場所で行ってください。低温で充電すると十分な充電ができません。また、高温で充電するとバッテリを劣化させるおそれがあります。
- バッテリの特性上、十分に充電された状態でも寒冷地では使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて暖めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。
- このバッテリは、常温で使用した場合、約 400 回繰り返し充電することができます。（使用条件によって異なることがあります。）十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお求めください。

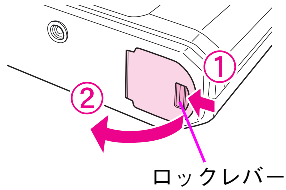
バッテリの挿入／取り出し

本機の電源には、専用リチウムイオンバッテリパック(型番:EPALB1)を使用します。これ以外のバッテリは使用できません。

◆バッテリの挿入

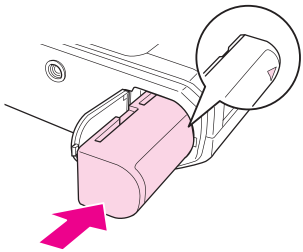
1 **電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、バッテリカバーを開ける**

ロックレバーを矢印の方向にスライドさせてバッテリカバーを開けます。



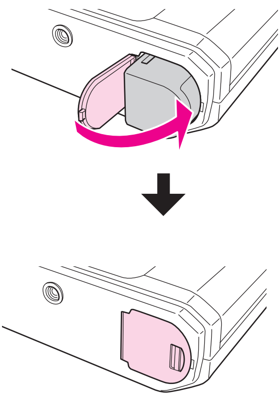
2 **バッテリを挿入する**

バッテリの向きに注意して、押し込みます。(バッテリは少し出た状態になります。)



3 **バッテリカバーを閉じる**

バッテリカバーは、「カチッ」という音がするまでしっかり閉めます。



メモ	バッテリ残量の確認は「針式インジケータの確認」(☞47 ページ)を参照してください。

◆バッテリの取り外し

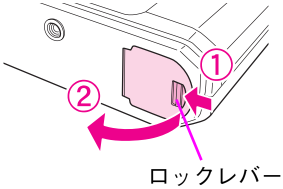
バッテリカバーを開け、以下の手順でバッテリを取り出します。

注 意

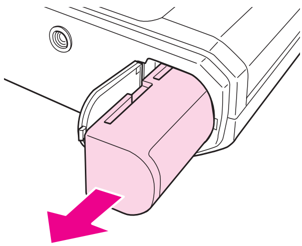
- 電源スイッチが「ON」のときにバッテリカバーを開けると、針式インジケータが動作しなくなったり、SD メモリーカードに保存されているデータが壊れたり、使用できなくなるおそれがあります。
- 針が動いているときは、バッテリカバーを開けないでください。針式インジケータが動作しなくなるおそれがあります。（☞ 121 ページ）

1 **電源スイッチが「OFF」になっていて、針式インジケータの動きが止まっていることを確認し、バッテリカバーを開ける**

ロックレバーを矢印の方向にスライドさせてバッテリカバーを開けます。



2 **バッテリを引き出す**

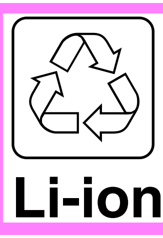


◆バッテリの交換について

バッテリを充電しても使用時間が短くなってきたときは、バッテリの寿命が考えられます。この場合は、オプションバッテリ（型番：EPALB1）をお買い求めいただき、上記の手順でバッテリを交換します。

注 意

使用済みのリチウムイオンバッテリはリサイクルすることができます。本機を廃棄する場合でも、バッテリは取り外し、資源を有効に利用するため、充電式電池リサイクル店へお持ちください。または、地域の条例や自治体の指示に従ってください。



レンズの取り付け／取り外し

本機のEMマウント(ライカ社M型互換マウント)には「Mマウント/VMマウント/ZM マウントレンズ」を装着することができます。また、「Mバヨネットアダプターリング」(市販品)を装着することで「Lマウントレンズ」を装着することができます。

注　意

- レンズの取り付け／取り外しは、ホコリの少ない場所で行ってください。カメラ内部の CCD にホコリなどが付着すると撮影画像に影響が出ることがあります。
- マウントから 20.5mm 以上の外形寸法があるレンズは装着できません。
  ＜装着できないレンズ＞(ライカ社)
  - •HOLOGON 15mmF8
  - •SUPER ANGULON 21mmF4
  - •SUPER ANGULON21mm F3.4
  - •ELMARIT 28mm F2.8(最初期対象型)
- 沈鏡胴（沈胴式）レンズを装着した場合、レンズを押し込む（沈胴させる）ことはできません。無理にレンズを押し込んだり、又は、押し込んだ状態でカメラボディに装着しますと、ボディおよびレンズを破損させる恐れがありますので、押し込まない状態で、固定鏡胴としてお使いください。
  ＜沈胴できないレンズ＞(ライカ社)
  - •HEKTOR 50mm F2.5
  - •ELMAR 50mm F3.5
- 以下のレンズは、レンズに付属のファインダーが本機には適合しないため、使用できません。
  ＜使用できないレンズ＞(ライカ社)
  - •DR SUMMICRON 50mm F2

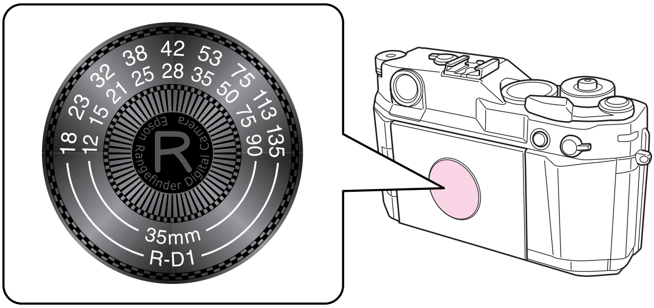
上記の原因による本機の故障および破損の修理は、保障期間内であっても保証範囲外となり、有料となります。また、上記の原因による他社製レンズの故障および破損に関しては、当社は一切の責任を負いません。

◆レンズの焦点距離について

本機は 23.7 × 15.6mm（APS-C サイズ）の CCD センサを搭載しています。35mm 版カメラの撮影面（35 × 24mm）に比べて小さいために、レンズの焦点距離が 35mm 版カメラに比べて約 1.53 倍になります。（「対応レンズ例」☞ 135 ページ）

例えば、50mm のレンズを本機に装着した場合、75mm のレンズを 35mm 版カメラに装着した場合とほぼ同等の焦点距離になります。（50 × 1.53=76.5mm）

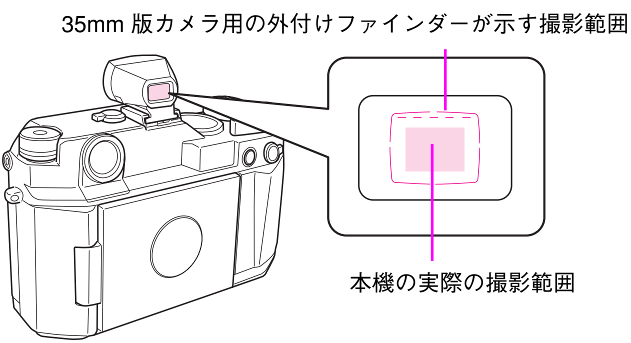
各レンズを本機に装着した場合の焦点距離については、本機背面の「焦点距離換算表」をご確認ください。（焦点距離換算表の「R-D1s」用の数値は、35mm 版カメラ用のレンズの焦点距離を約 1.53 倍にした数値です。）



28mm、35mm、50mm レンズは、本機のファインダー内蔵のフレームを切り替えることにより、実際の撮影範囲を確認できます。

12mm レンズや 15mm レンズなど、内蔵のフレームに対応していないレンズを装着した場合は、外付けファインダーを使用してください。

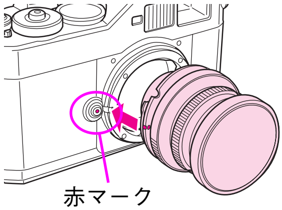
35mm版カメラ用外付けファインダーでは、外付けファインダー内のフレームよりも撮影範囲は狭くなります。



◆ M / VM / ZM マウントレンズの取り付け

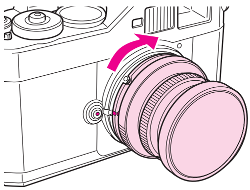
注 意 以下のMマウントレンズは本機の機構上、装着できません。（「対応レンズ例」☞ 135 ページ）
HOLOGON 15mmF8 ／ SUPER ANGULON 21mmF4 ／ SUPER ANGULON 21mm F3.4 ／ ELMARIT 28mm F2.8（最初期対象型）／ DR SUMMICRON 50mm F2

1 **レンズ着脱ボタンの「赤マーク」と、レンズの「赤マーク」を合わせる**



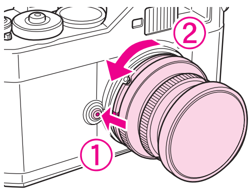
2 **レンズをはめ込み、レンズを時計回りに回す**

「カチッ」と音がしてレンズが固定されます。



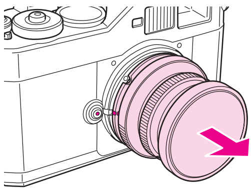
◆ M / VM / ZM マウントレンズの取り外し

1 **レンズ着脱ボタンを押したまま、レンズを反時計回りに回す**



2 **「赤マーク」の位置で、レンズを引き抜く**

レンズが外れます。



◆Ｌマウントレンズの取り付け

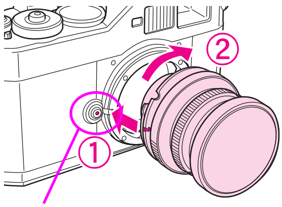
BESSA シリーズ用レンズ（コシナ社製）、また、他社のＬマウントレンズの取り付けには、市販品の「M- バヨネットアダプターリング」（コシナ社製）が必要です。「M- バヨネットアダプターリング」の取り付け／取り外しは、以下の手順で行ってください。

注 意　レンズをアダプターリングに取り付けるとき、またはアダプターリングからレンズを取り外すときは、必ずアダプターリング付属のリアキャップをアダプターリングに取り付けたまま行ってください。リアキャップを外して素手で取り付け／取り外しを行うとけがをするおそれがあります。

1 「M- バヨネットアダプターリング」に、レンズを取り付ける

レンズマウントネジをアダプタリングのネジ溝に合わせて、時計回りに回します。

2 レンズ着脱ボタンの「赤マーク」とアダプターリングの「赤マーク」を合わせてレンズをはめ込み、レンズを時計回りに回す

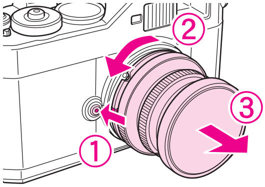


メ モ
- 「M- バヨネットアダプターリング」（コシナ社製）は 3 種類ありますが、どれでも使用できます。
- アダプタリングを先にカメラへ取り付けると、その後でレンズをねじ込む際に細かいゴミ（金属粉）がカメラ内部に入り、CCD に付着する可能性があります。このため、アダプタリングは先にレンズの方へ装着することをお勧めします。

◆Lマウントレンズの取り外し

1 **レンズ着脱ボタンを押したままレンズを反時計回りに回し、アダプターリングとレンズを一緒に外す**

レンズが外れます。



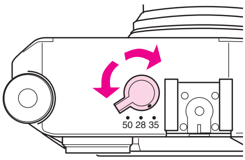
2 **「M-バヨネットアダプターリング」からレンズを取り外す**

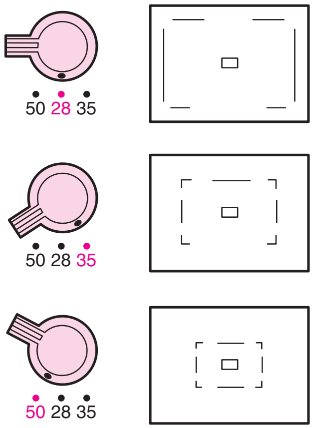
アダプターリング付属のリアキャップをアダプターリングに取り付け、レンズを反時計回りに回して、レンズを取り外します。

◆画角（フレーム）の設定

本機のファインダー画角設定レバーを、取り付けたレンズの焦点距離に合わせます。ファインダー内のフレームはすでに 1.53 倍に設定されているので、レンズの焦点距離に合わせるだけでお使いいただくことができます。

レンズに合わせて、画角設定レバーの位置を変更し、ファインダー内のフレームを切り換えます。

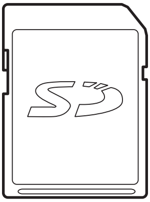




メモリーカードの挿入／取り出し

◆使用できるメモリーカード

本機は、記録媒体として「SD メモリーカード」（市販品）を使用します。

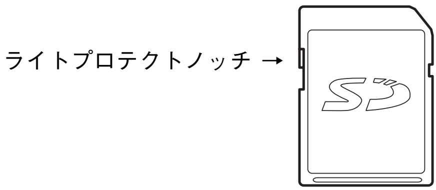


注　意

- メモリーカードの端子面にホコリやゴミが付いた状態で使用しないでください。端子面が汚れていると、データの読み出しや書き込みができない場合があります。
- 本機に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。身体からの静電気は、データを消失・破損させるおそれがあります。
- メモリーカードをセットした後は、取り出すときまで、必ずメモリーカードカバー を閉じておいてください。カバーを閉じておくことで、メモリーカードおよびメモリーカードに記録されているデータを静電気から守ります。
- 本機で使用する SD メモリーカードは、必ず本機でフォーマット（☞ 99 ページ）してください。パソコン側でフォーマットした SD メモリーカードを使用した場合、データが破損することがあります。
- アクセスランプが点灯しているときに SD メモリーカードを挿入したり取り出したりすると、保存されているデータが壊れたり、使用できなくなるおそれがあります。
- MMC（マルチメディアカード）は、使用できません。

メ　モ

SD メモリーカードには、「ライトプロテクト」（書き込み禁止）機能があります。
SD メモリーカードの側面にあるノッチを「LOCK」方向にスライドさせると書き込み禁止となり、SD メモリーカード内のデータを保護することができます。ただし、撮影や初期化ができませんので、撮影時には書込み禁止を解除してお使いください。



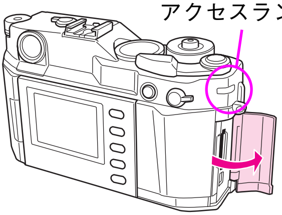
◆メモリーカードの挿入

注 意

- 誤った向きに差し込んだり、差し込みが不十分な場合は、メモリーカードを認識しません。
- 本機はSDメモリーカードが挿入されていなくてもシャッターを切ることができますが、この場合、データは記録されませんのでご注意ください。

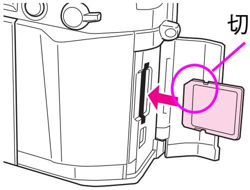
1 アクセスランプが点灯していないことを確認し、メモリーカードカバーを開ける

メモリーカードカバーの下端側の角から、カバーを開けます。

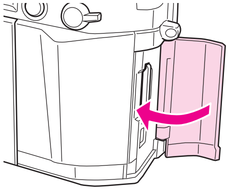


2 メモリーカードを挿入する

メモリーカードの向きに注意して、「カチッ」という音がする位置まで押し込みます。



3 メモリーカードカバーを閉じる



メ モ

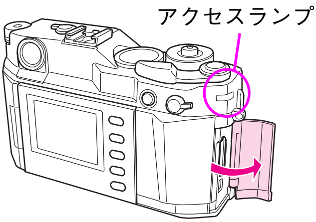
- 「書込み禁止」になっているSDメモリーカードは、記録・消去ができません。（☞27ページ）
- アクセスランプが点灯していない場合は、各種設定操作中でもメモリーカードを取り出すことができます。（ただし、メモリーカードのフォーマット中は本機がメモリーカードにアクセスするため、メモリーカードを取り出さないでください。）
- 未フォーマットのSDメモリーカードを挿入した場合は、[↵]を押すとSDメモリーカードをフォーマットする画面が表示されます。

◆メモリーカードの取り出し

注　意　アクセスランプが点灯しているときは、メモリーカードを取り出したり、カメラ本体に振動や衝撃を与えたり、バッテリを取り出したりしないでください。

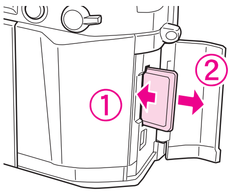
1 **アクセスランプが点灯していないことを確認し、メモリーカードカバーを開ける**

メモリーカードカバーの下端側の角から、カバーを開けます。

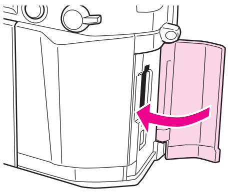


2 **メモリーカードを軽く押し込み、まっすぐ引き抜く**

軽く押し込むと少し飛び出すので、そのまま引き抜きます。



3 **メモリーカードカバーを閉じる**

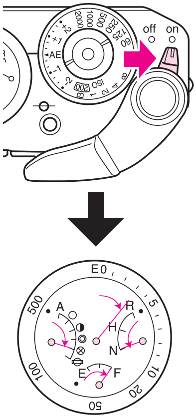


メ　モ　アクセスランプが点灯していない場合は、各種設定操作中でもメモリーカードを取り出すことができます。(ただし、メモリーカードのフォーマット中は本機がメモリーカードにアクセスするため、メモリーカードを取り出さないでください。)

電源の入れ方／切り方

◆電源の入れ方

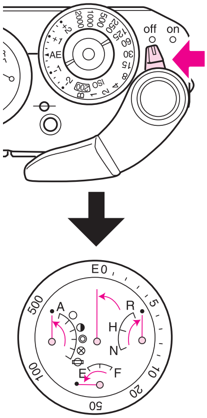
電源スイッチを「ON」にします。
針式インジケータの針が、現在の情報を示す位置に移動します。
購入後、最初に電源をONにしたときは、表示言語や日時を設定する必要があります。（☞31ページ）



メ モ	針の指す位置がずれているときは、位置を調整してください。（☞87ページ）

◆電源の切り方

電源スイッチを「OFF」にします。
針式インジケータの針が、元の位置（原点）へ戻ります。



注 意　撮影直後はアクセスランプが点灯し、画像データをメモリーカードに書き込みます。アクセスランプが消灯するまで、本機の電源をOFFにしないでください。アクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、書き込み中の画像データが壊れたり、メモリーカードが使用できなくなるおそれがあります。

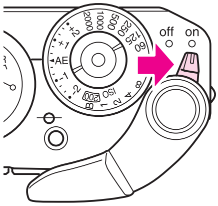
◆最初に電源を入れたときは

購入後、最初に電源をONにしたときは、日時を設定する必要があります。以下の手順で必要な設定を行ってください。

1 **電源スイッチを「ON」にする**

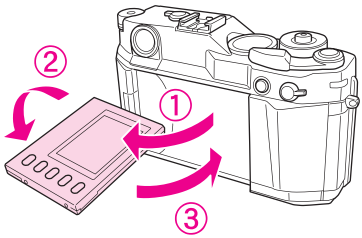
針式インジケータの針が、現在の情報を表示します。

以下の手順に従って、日時を設定します。



2 **液晶モニタを外側に向ける**

自動的に日時設定画面が表示されます。



3 **で設定したい「年」を選び、を押す**

「年」の数値が確定され、「月」の項目に移動します。

を押すと、1つ前の項目に戻ります。



4 **同様の手順で、「月」「日」「時」「分」を選ぶ**

日付と時刻が設定され、撮影モードになります。（液晶モニタはOFFになります。）

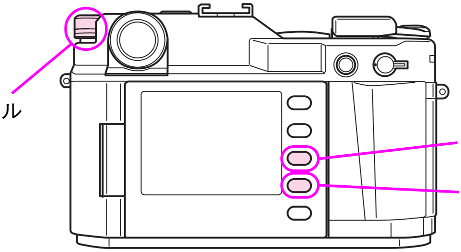


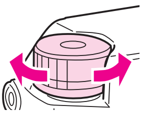
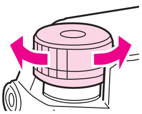
メモ	長期間使用せずに保管していた場合も、電源を入れたときに日時の設定が必要になることがあります。（☞ 114ページ）

基本操作と画面の見方

◆基本操作

本機のほとんどのメニュー操作は、JOG ダイヤル（ ）で選択して、 ボタンで決定して進めます。操作を中止するときは ボタンを押します。



操作	詳細	本書中の説明
通常の位置での操作	JOG ダイヤルを下げた状態で回します。 	で選択
引き上げて操作	JOG ダイヤルを引き上げた状態で回します。 	を引き上げて選択

例）



項目は を引き上げて選択

画像は で選択

JOG ダイヤルの操作が必要な画面には、
このアイコンが表示されます。

◆画面の見方

画像再生画面

バッテリが少なくなるとバッテリマークが表示されます。

印刷設定されていると印刷マークと印刷枚数が表示されます。

画像データが「保護」に設定されていると、保護マークが表示されます。



表示中の画面で可能な操作や、画面の情報を示します。

例 1）

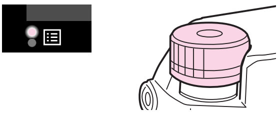


ボタンの機能説明

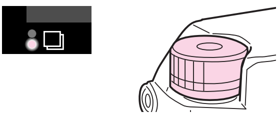
例 2）



画像番号／総画像枚数

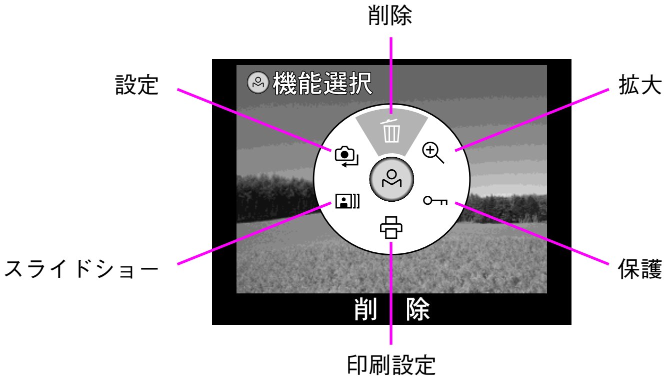


JOG ダイヤルが上の位置のときは上の○が点灯します。

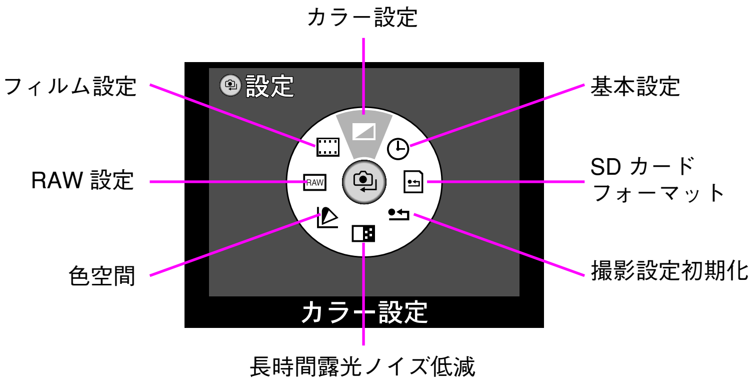


JOG ダイヤルが下の位置のときは下の○が点灯します。

機能選択メニュー



設定メニュー



デジタルカメラについて

デジタルカメラでは、従来のフィルムカメラと異なり、撮影した画像をデジタルデータで記録します。ここでは、本機でデジタルデータを扱う上での基本的なことがらを説明しています。

◆画像品質(記録形式・記録サイズ・圧縮率)

デジタルカメラでは、あらかじめ記録形式や記録サイズ、圧縮率などの画像品質を設定して撮影を行います。画像品質は、撮影データの用途(出力サイズなど)によって決めます。

記録形式

本機では、撮影した画像を JPEG 形式または、RAW 形式で記録することができます。

JPEG	RAW
■概要	
多くのデジタルカメラで採用している形式で、一般的なアルバムソフトや他のデジタルカメラなどで見ることができます。 ファイルを小さくするために、人間の目には認識しずらい色や階調を間引いているため、非可逆性のデータになります。 ※ JPEG データは、Exif2.21、および、DCF2.0 に準拠しています。	RAW（生の）というとおり、レンズから入って CCD が受け取った光のデータをそのまま記録する形式です。（フィルムカメラでいえば、フィルムに焼き付けられたままのような状態です。） このデータは専用のアプリケーションソフトを使って画像を処理し、JPEG データや TIFF データとして出力します。これをフィルムと同様に、「現像」といいます。 ※通常は現像処理をしないと再生できませんが、本機では、簡易的に再生できます。
■メリット	
• 画像をすぐ見ることができる • ファイルサイズが小さい • 汎用性がある（いろいろなソフトウェアに対応している）	• ホワイトバランスや露出補正値などを現像時に調整できる • CCD　が受け取った光のデータを直接加工するため、画像の劣化を防ぐことができる • JPEG 形式よりも多階調な色を記録できる
■デメリット	
画像を加工すると劣化する	• ファイルサイズが大きい • 汎用性がない • 現像のためにパソコンが必要 • 画像加工の知識が必要

記録サイズ

記録サイズと用途の関係は、以下のようになります。

記録形式と記録サイズ	用途	サイズ
約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW	高精細なフォトレタッチおよび A3 サイズまでの出力に適しています。 （専用のソフトウェアによる「現像」が必要です。	約 10MB
約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG	A3 サイズまでの出力に適しています。	約 3MB
約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG	A4 サイズまでの出力に適しています。	約 1.5MB

圧縮率

本機で撮影する JPEG 画像の圧縮率は、1/4 です。(変更できません。)

◆ファイル名

本機で撮影した画像データは、「EPSN ＊＊＊＊ .XXX」(色空間を sRGB に設定して撮影した場合)または「_EPS ＊＊＊＊ .XXX」(色空間を Adobe RGB に設定して撮影した場合)というファイル名で記録されます(＊＊＊＊は連番)。また、「.XXX」は、JPEG の場合は「.JPG」、RAW の場合は「.ERF」になります。

◆ ISO 感度について

フィルムカメラではISO感度はフィルムごとに決まっていますが、デジタルカメラではカメラ側で設定します。(フィルムと異なり、1 ショットごとの変更もできます。)
ISO感度を高めに設定するとシャッタースピードを速くすることができますが、画像にざらつき(ノイズ)が生じることがあります。
ISO 感度を低くするとノイズの少ない画像を得ることができますが、シャッタースピードが遅くなります。
本機で設定できる ISO 感度は、ISO200 ～ 1600 になります。

◆ホワイトバランスについて

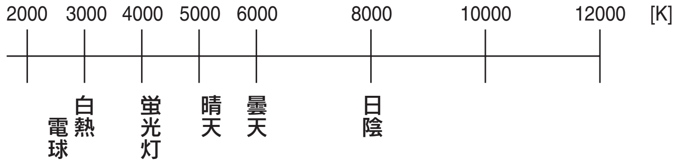
デジタルカメラで白い被写体を白く写すために、被写体周辺の光源に合わせて、カメラ側で調整を行います。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
本機で設定できるホワイトバランスは、オート／晴天／日陰／曇天／白熱電球／蛍光灯になります。

メモ

- 「RAW 形式」で撮影し、本機に付属のアプリケーションソフトで現像する場合は、色温度（2000K ～ 10000K）などによるホワイトバランスの設定なども可能です。現像アプリケーションソフトの使用方法については、「EPSON Photolier オンラインヘルプ」または「EPSON RAW Plug-In オンラインヘルプ」を参照してください。
- フィルムカメラのように「フィルター」を使用して色調整を行いたい場合は、本機のホワイトバランスを「晴天」に設定してください。

色温度

光の色を絶対温度（K:ケルビン）で表したものを、「色温度」といいます。色温度とホワイトバランスの関係は以下のようになります。



◆ CCD センサについて

CCD（撮影素子）は、フィルムカメラの「フィルム」にあたる部分です。レンズから入ってきた光は、CCD に集められ、光の情報がデジタルデータに変換されます。

暗点・暗線

CCD センサ にゴミやホコリが付着すると、撮影した画像に黒い点や線が写り込むことがあります。（この場合は、常に同じ位置に黒い点や線が写り込みます。）CCD センサに付着したゴミやホコリは、清掃手順に従って清掃してください。（☞ 116 ページ）

注 意

できるだけ CCD センサにゴミやホコリが付着しないようにするために、特に以下の点にご注意ください。

- ホコリの多い場所でレンズ交換したり、放置しない。
- 本機を上向きにしてレンズ交換しない。
- 本機を使用しない場合はレンズ部カバーを取り付けて保管する。
- 市販のエアスプレーは絶対に使用しない。（スプレー内に入っている細かい液体が CCD センサに付着して症状がひどくなる場合があります。）

輝点画素

稀に一部の画素が常時明るい点として撮影されてしまうことがあります。これを輝点画素と呼びます。（故障ではありません。）輝点画素は使用状況によって徐々に発生しますが、これは避けられません。本機の輝点画素補正機能（☞ 89 ページ）によって輝点画素を目立たなくすることができます。

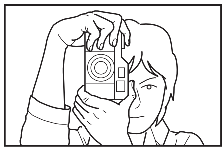
2章　撮影

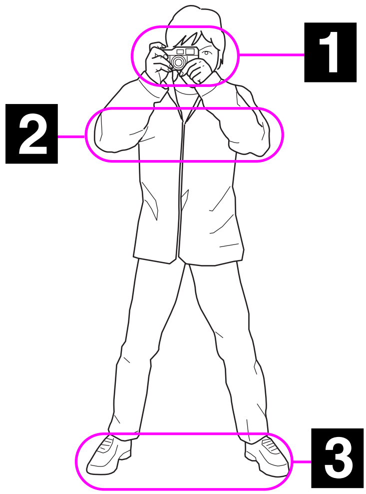
◆カメラの持ち方･構え方

カメラを構えるときは、以下のようにすると安定します。

注 意
- レンズキャップを外した状態でレンズを太陽に向けないでください。太陽光線によりシャッター膜を傷めるおそれがあります。
- レンズ保護のため、撮影後はレンズキャップをつけてください。

縦の場合





1 右手でグリップを包み込むように持ち、人差し指をシャッターボタンにかける

両手でカメラを支えます。
両手と額（または鼻）の3点で支えると、より安定して構えることができます。

2 わきを締め、軽くひじを体につける

3 軽く足を開いて、片足を前に出す

メ モ
シャッタースピードが遅いときは、手ぶれを防ぐために、三脚、ケーブルレリーズなどの使用をお勧めします。

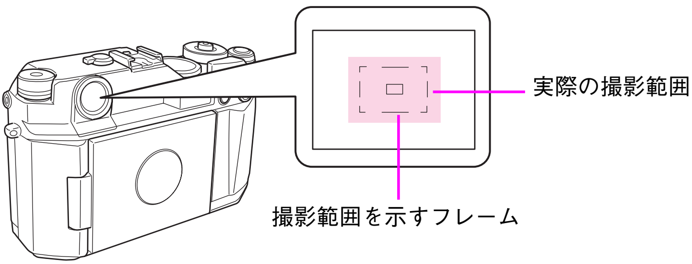
◆撮影手法

被写体に応じて、以下のような撮影のしかたがあります。

撮影手法		内容
絞り優先 AE 撮影		レンズの絞りと露出補正値を自分で決めて、シャッタースピードをカメラに任せて撮影します。スナップ撮影する場合に適した撮影方法です。任意の位置で露出を固定することもできます。（AE ロック撮影）（☞52 ページ）
マニュアル撮影	絞りを先に決める場合	背景のボケ具合など、被写界深度をコントロールしたい場合に適した撮影方法です。人物を撮影するときに、背景をぼかした写真を撮影することができます。露出はシャッタースピードダイヤルで調整します。（☞56 ページ）
	シャッタースピードを先に決める場合	被写体の動きを表現したい場合に適した撮影方法です。被写体に合わせてシャッタースピードを決定することによって、止まっているような写真や、スピード感のある写真を撮影することができます。露出はレンズの絞りで調整します。（☞58 ページ）
その他の撮影	フラッシュ撮影	室内など、明るさが足りない場合に適した撮影方法です。本機でフラッシュ撮影をする場合は、外部フラッシュ（市販品）が必要です。（☞60 ページ）
	バルブ撮影	夜景や花火、天体を撮影する場合に適した撮影方法です。（☞62 ページ）

◆ファインダー視野率

本機のファインダー視野率（ファインダーで確認できる範囲）は85％（3m時）です。実際に撮影される範囲は、ファインダー内のフレームより多少広くなります。

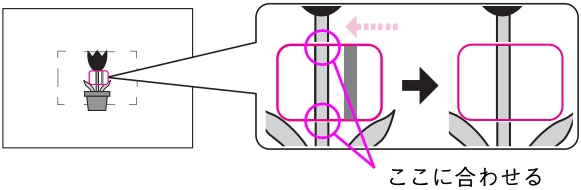


◆ピントの合わせ方

本機では､以下の方法でピントを合わせます。

ファインダーを覗きながら中央に被写体の縦の線を合わせ､一本の直線になるまでレンズの距離リングを回します。

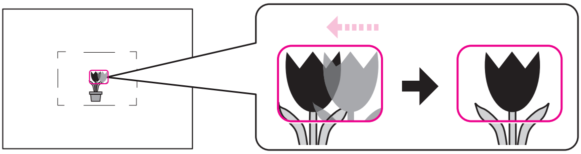
ピントを合わせた後､被写体の構図を決めてください。



メ　モ	ピントを合わせるときは､必ずファインダー接眼窓の中央に眼を置いてまっすぐ見てください。

被写体に縦の線がないときは

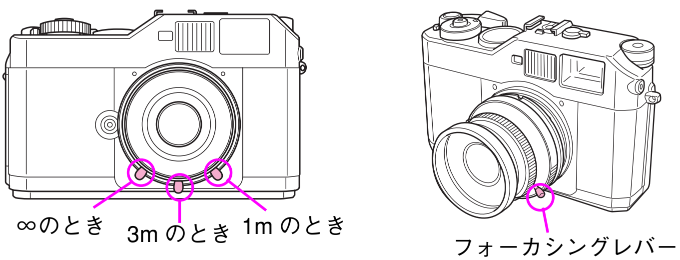
中央の二重像が合致するまでレンズの距離リングを回します。



すばやいピント合わせのためにー 1

フォーカシングレバーを備え､フォーカス距離表示があるレンズを使用している場合は､このレバーの位置と目測による測距によっておおよそのピント合わせが可能になります。

例）



すばやいピント合わせのために－２（被写界深度とパンフォーカス撮影）

被写体にピントを合わせたとき、「被写体までの距離」が「ピント位置」となります。しかし、実際の写真ではその前後もピントが合っている場合があります。

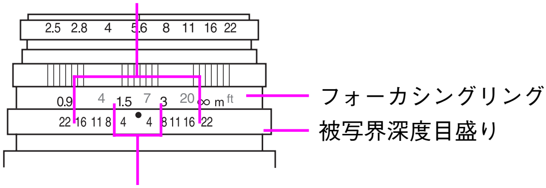
このピントが合っている範囲を「被写界深度」と呼びます。範囲が広い状態を「被写界深度が深い」、狭い状態を「被写界深度が浅い」と言います。

被写界深度は、広角レンズのような焦点距離の短いレンズを使用すると深くなり、望遠レンズのような焦点距離の長いレンズを使用すると浅くなります。

また、同じレンズを使用しても、絞りを絞り込むと深くなり、絞りを開けると浅くなります。絞りの数値に対応した被写界深度は、レンズのフォーカシングリングと被写界深度目盛りで確認できます。

下図のレンズのようにピントが合っているとき、絞りがf4の場合は被写界深度は約1.5～2mになります。絞りをf16に絞り込んだ場合は被写界深度は約1～6mに広がります。

絞りが f16 の場合：約 1 ～ 6m

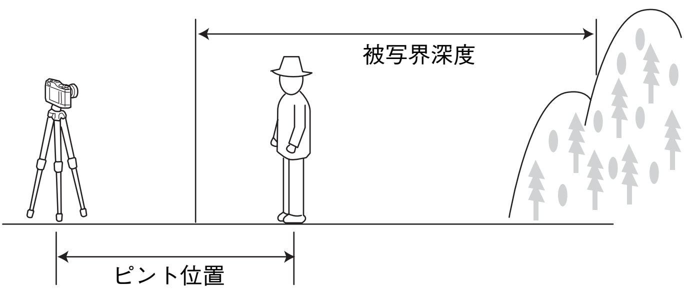


絞りが f4 の場合：約 1.5 ～ 2m

被写界深度が深い状態、つまりピントが合っている範囲が広い状態を利用して、近くから遠くまでピントが合うように撮影することを「パンフォーカス撮影」と呼びます。

パンフォーカス撮影は、近くの被写体と遠くの景色を一緒に撮影するときや、被写体のピントを合わせにくいとき、ピント合わせの時間がないときに便利です。

注　意　パンフォーカス撮影は、絞りを絞り込んで撮影することになるため、シャッタースピードが遅くなります。そのため、動きのある被写体の撮影には向いていません。

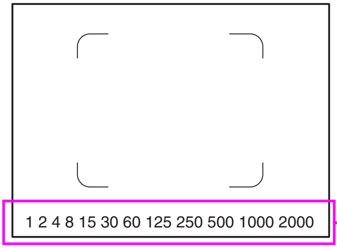


◆露出計の見方

本機には、中央部重点平均測光露出計が装備されており、露出計での測定値はファインダー部に表示されます。絞りとシャッタースピードを変えて撮影する場合、この露出計を確認し、適正露出になるように設定します。

マニュアル撮影の場合

＜ファインダー＞



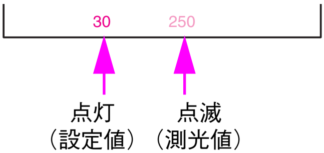
シャッタースピード表示

・点灯：設定値
（現在のシャッタースピードダイヤルの設定値）

・点滅：測光値
（適正露出となるシャッタースピード）

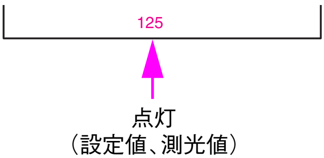
例）

■露出オーバーの場合

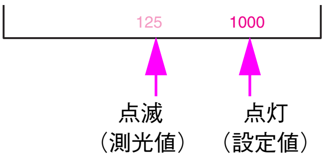


※ シャッタースピードの測光値が1 / 2000 秒、またはそれよりも速い場合は、「2000」が点滅します。

■適正露出の場合



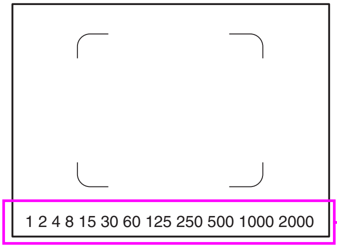
■露出不足の場合



※ シャッタースピードの測光値が 1 秒、またはそれよりも遅い場合は、「1」が点滅します。

絞り優先 AE 撮影の場合

<ファインダー>



シャッタースピード表示
- 点灯：適正露出時のシャッタースピード
- 点滅：露出補正時のシャッタースピード

例）

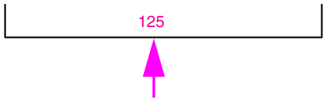
■十側に露出補正した場合



点滅
（露出補正時のシャッタースピード）

※ シャッタースピードの測光値が1/2000 秒、またはそれよりも遅い場合は、「2000」が点滅します。

■露出補正なしの場合



点灯
（適正露出時のシャッタースピード）

■一側に露出補正した場合



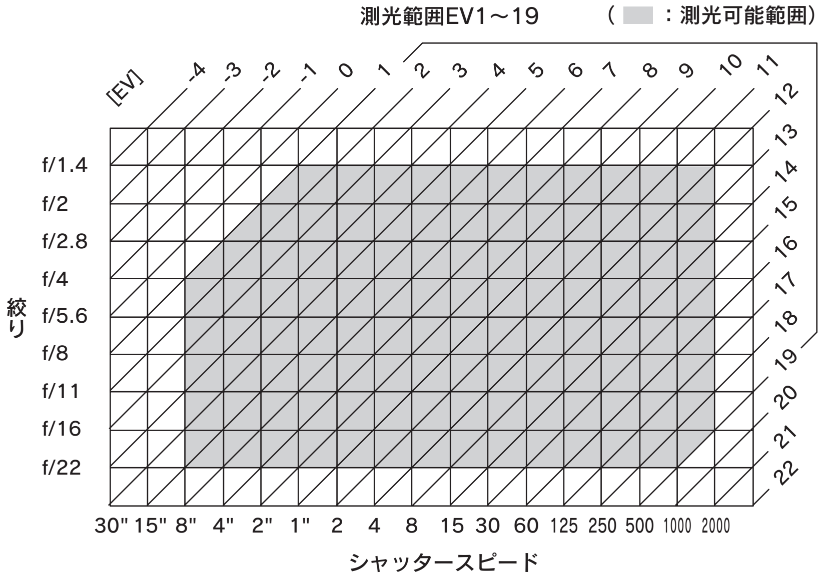
点滅
（露出補正時のシャッタースピード）

※ シャッタースピードの測光値が 1 秒、またはそれよりも遅い場合は、「1」が点滅します。

本機の測光範囲について

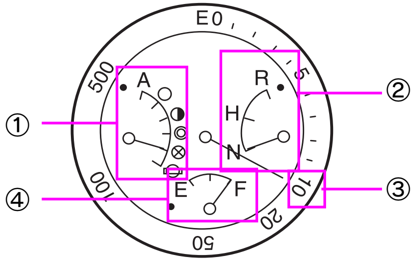
本機に内蔵されている露出計の測光可能範囲はEV 1～ EV19(ISO100 時)です。
測光可能な範囲(EV 値、シャッタースピード、絞り)は以下のとおりです。

ISO100 時のシャッタースピード・絞り・EV 値の関係図



◆針式インジケータの確認

撮影の前には、針式インジケータを確認して、バッテリ残量、ホワイトバランス、画像品質、撮影可能枚数をチェックしておきます。



① ホワイトバランス

ホワイトバランスの設定をマークで示しています。

A：オート　○：晴天　◑：日陰

◎：曇天　⊗：白熱電球　：蛍光灯

② 画像品質

画像品質の設定を示しています。

R：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW
H：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG
N：約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG

③ 撮影可能枚数

針式インジケータの外周の目盛りで、現在設定されている画像品質での撮影可能枚数を示しています。

500 ～ 10：おおよその撮影可能枚数を示します。
10 ～ 1　：残りの撮影可能枚数を示します。
0　　　　：撮影可能枚数がありません。
E　　　　：SDメモリーカードが入っていない場合など、「SDカードエラー」であることを示します。

④ バッテリ残量

F　：バッテリ残量は十分あります。
E　：バッテリ残量がありません。

メ モ	撮影可能枚数の表示は、おおよその目安です。画像ファイルのサイズは、撮影する画像や画像品質の設定によっても異なります。

画質に関する設定

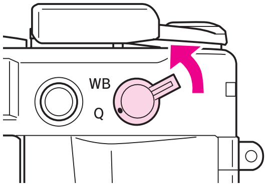
本機の画質に関する設定は以下のようになっています。設定は必要に応じて変更することができます。

項目	設定値 （＿は初期設定）	設定内容
画像品質	R ：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW H ：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG N ：約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG	撮影する画像の記録形式と記録サイズを設定します。 （☞ 49 ページ） RAW データと JPEG データを同時に保存する設定にしている場合、「R」に設定して撮影すると約 600 万画素の JPEG データも一緒に記録されます。 （☞ 96 ページ）
フィルム設定	標準設定 フィルム 1 フィルム 2 フィルム 3	撮影する画像の彩度やコントラスト、エッジ強調などのタイプを設定します。 （☞ 93 ページ） 「フィルム 1 ～ 3」は、それぞれ撮影シーンに適した設定の組み合わせになっています。各設定値に対応する撮影シーンは以下の通りです。 「フィルム 1」：人物撮影 「フィルム 2」：風景撮影 「フィルム 3」：夜景撮影 （☞ 94 ページ）
ISO 感度	200 400 800 1600	撮影状況に応じて ISO 感度を設定します。 （☞ 50 ページ）

◆画像品質を設定する

画像品質は、以下の手順で選択します。

1 画像品質／ホワイトバランス設定レバーを「Q」側に合わせる



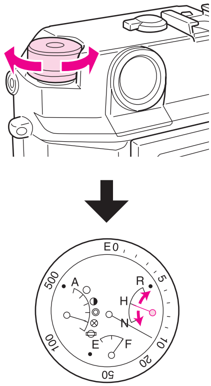
2 レバーを合わせたまま [JOGダイヤル] を回し、画像品質を選択する

JOG ダイヤルを回すと針式インジケータの針が動きます。

R：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW

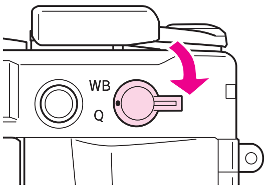
H：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG

N：約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG



3 画像品質／ホワイトバランス設定レバーを離す

針式インジケータに画像品質が表示されます。

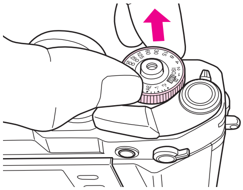


◆ISO 感度を設定する

ISO 感度は、以下の手順で選択します。

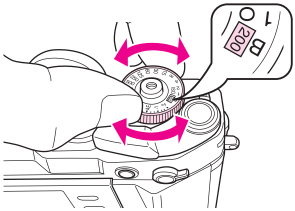
1 シャッター速度ダイヤルを引き上げる

外側の枠が持ち上がります。

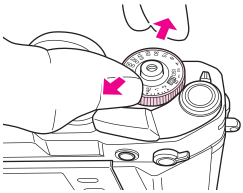


2 ISO 感度を設定する

シャッター速度ダイヤルに ISO 感度が表示されます。



3 シャッター速度ダイヤルを離す



メ　モ	被写体が暗いときは、ISO 感度を高めに設定するとシャッタースピードを速く設定することができます。ただし、ISO感度を高めに設定した場合は、画像にざらつき（ノイズ）が生じることがあります。

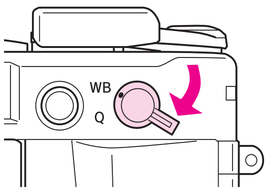
光源に関する設定

本機の光源に関する設定は以下のようになっています。設定は必要に応じて変更することができます。

項目	設定値 （＿は初期設定）	設定内容
ホワイト バランス	<u>オート</u> 晴天 日陰 曇天 白熱電球 蛍光灯	光源に応じてホワイトバランスを設定します。

◆ホワイトバランスを設定する

1 **画像品質／ホワイトバランス設定レバーを「WB」側に合わせる**



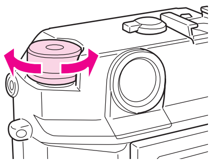
2 **レバーを合わせたまま、を回し、ホワイトバランス（光源）を選択する**

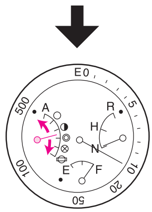
JOG ダイヤルを回すと針式インジケータの針が動きます。

A :オート　◎ :曇天

○ :晴天　⊗ :白熱電球

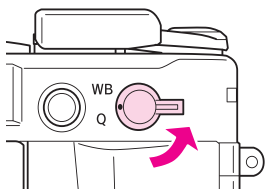
◑ :日陰　 :蛍光灯





3 **画像品質／ホワイトバランス設定レバーを離す**

針式インジケータにホワイトバランスが表示されます。

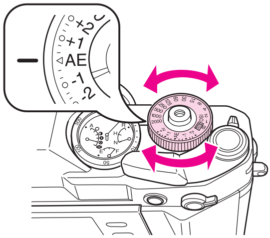


絞り優先 AE 撮影

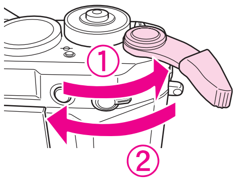
絞り優先AE撮影では、絞りを設定するとシャッタースピードを自動的にカメラが決定します。これを「絞り優先 AE 撮影」といいます。絞り優先 AE 撮影は、以下の手順で行います。

1 シャッター速度ダイヤルを「AE」に合わせる

シャッター速度ダイヤルは「AE」の位置で固定されます。

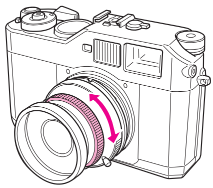


2 シャッターチャージレバーを操作する

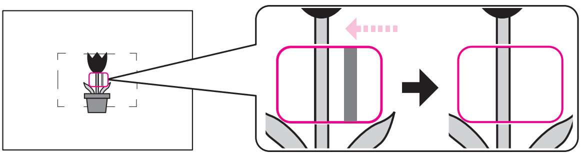


3 レンズの絞りリングを回し、設定したい絞りに合わせる

シャッタースピードを速くしたい場合や背景をぼかしたい場合は絞りを開放方向へ、被写界深度を深くしたい場合は絞りを絞る方向へ回します。

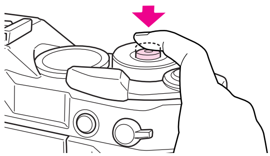


4 ピントを合わせる



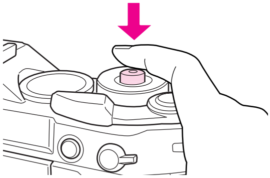
5 シャッターボタンを半押しし、ファインダー内に表示されるシャッタースピードを確認する

シャッタースピードを変更したい場合は、手順 3 に戻り、絞りを調節します。



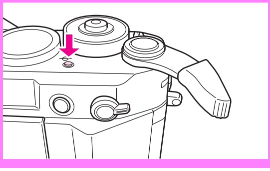
6 シャッターボタンを全押しする

適正露出になるように自動的にシャッタースピードが設定され、写真が撮影されます。



注 意

- 撮影直後はアクセスランプが点灯し、画像データをメモリーカードに書き込みます。アクセスランプが消灯するまで、本機の電源をOFFにしないでください。アクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、書き込み中の画像データが壊れたり、メモリーカードが使用できなくなるおそれがあります。
- 本機のシャッター速度ダイヤルは、「AE」の位置で自動的に固定されます。シャッター速度ダイヤルをAEの位置から動かす場合は、右図のロックボタンを押しながら操作してください。



メ モ

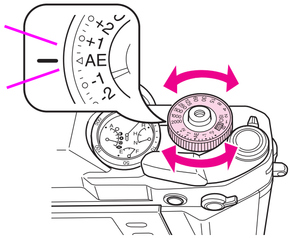
- 絞りの数値が小さくなるほど背景をぼかした写真を撮影できます。（被写界深度が浅くなります。）
- 絞りの数値が大きくなるほど、前後に広い範囲をくっきりさせた写真を撮影できます。（被写界深度が深くなります。）
- 長時間露光ノイズ低減を「ON」に設定して（☞98 ページ）、遅いシャッタースピードで撮影したとき、ノイズ除去処理のため撮影時間が長くかかる場合があります。（ノイズ除去処理中に電源をOFFにしたり、バッテリがなくなると、ノイズ除去処理前の画像が記録されます。）

◆露出補正をする場合

本機で測定した露出を意図的に変えることを「露出補正」といいます。本機では、シャッター速度ダイヤルで露出補正を行います。

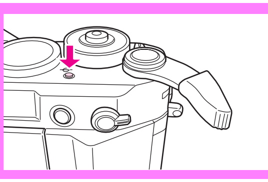
＋側に露出を補正すると明るくなります。

−側に露出を補正すると暗くなります。



注 意

本機のシャッター速度ダイヤルは、「AE」の位置で自動的に固定されます。シャッター速度ダイヤルをAEの位置から動かす場合は、右図のロックボタンを押しながら操作してください。

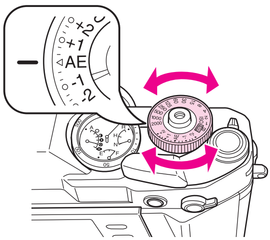


メ モ

本機は中央部重点平均測光式のため、被写体の色によって測光値が変わります。撮影の際、白っぽい被写体の場合は露出のプラス補正、黒っぽい被写体の場合は露出のマイナス補正が必要となります。

露出補正を解除するときは

シャッター速度ダイヤルを「AE」に合わせると、露出補正量が0になります。

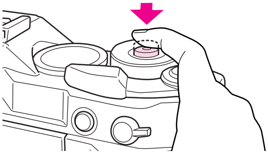


◆露出を固定する場合（AE ロック撮影）

絞り優先 AE 撮影で、被写体が構図の中心にない場合や逆光の場合など、露出を決めてから撮影したい場合は、「AE ロック」ボタンを使って露出を固定して撮影します。
※基本的な撮影のしかたは「絞り優先 AE 撮影」と同様です。

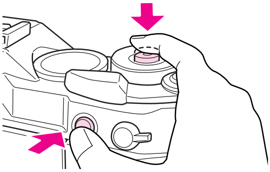
1 **「絞り優先AE 撮影」（☞ 52ページ）の手順１～４の操作を行う**

2 **露出をあわせたい対象にカメラを向けて、シャッターボタンを半押しする**



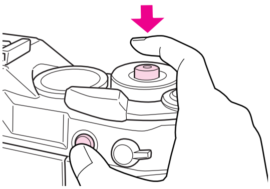
3 **ファインダー内にシャッタースピードが表示されている間に「AE ロック」ボタンを押す**

「AE ロック」ボタンを押している間、露出が固定されます。（シャッターボタンから指を離しても露出は固定されています。）



4 **「AE ロック」ボタンを押したまま撮影したい構図に戻し、シャッターボタンを全押しする**

「AEロック」ボタンを押したときの露出で、撮影されます。



注 意 撮影直後はアクセスランプが点灯し、画像データをメモリーカードに書き込みます。アクセスランプが消灯するまで、本機の電源を OFF にしないでください。アクセスランプ点灯中に電源を OFF にすると、書き込み中の画像データが壊れたり、メモリーカードが使用できなくなるおそれがあります。

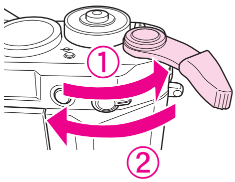
マニュアル撮影

マニュアル撮影では、被写体や撮影意図に応じて絞りを先に決めたり、シャッタースピードを先に決めたりして撮影します。

◆絞りを先に決める場合

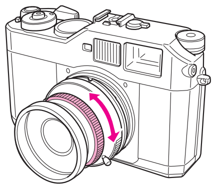
絞りを先に決めて撮影する場合は、以下の手順で撮影します。

1 シャッターチャージレバーを操作する



2 レンズの絞りリングを回し、設定したい絞りに合わせる

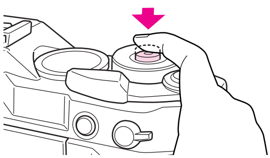
シャッタースピードを速くしたい場合や背景をぼかしたい場合は絞りを開放方向へ、被写界深度を深くしたい場合は絞りを絞る方向へ回します。



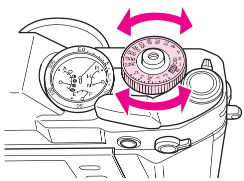
3 シャッターボタンを半押しする

露出計が作動し、ファインダー内に適正露出となるシャッタースピードが表示されます。

半押し後、露出計は約12秒間作動します。

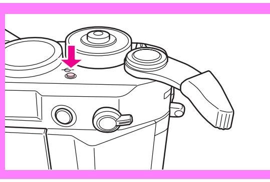


4 シャッター速度ダイヤルを回し、適正露出になる位置に合わせる

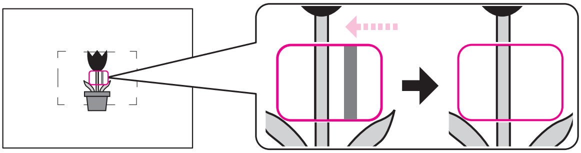


注 意

本機のシャッター速度ダイヤルは、「AE」の位置で自動的に固定されます。シャッター速度ダイヤルをAEの位置から動かす場合は、右図のロックボタンを押しながら操作してください。

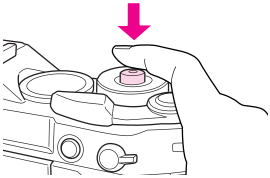


5 ピントを合わせる



6 シャッターボタンを全押しする

写真が撮影されます。



注　意　撮影直後はアクセスランプが点灯し、画像データをメモリーカードに書き込みます。アクセスランプが消灯するまで、本機の電源をOFFにしないでください。アクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、書き込み中の画像データが壊れたり、メモリーカードが使用できなくなるおそれがあります。

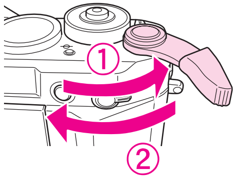
メ　モ

- 絞りの数値が小さくなるほど背景をぼかした写真を撮影できます。（被写界深度が浅くなります。）
- 絞りの数値が大きくなるほど、前後に広い範囲をくっきりさせた写真を撮影できます。（被写界深度が深くなります。）

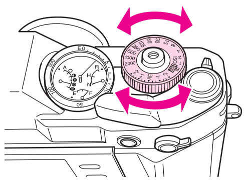
◆シャッタースピードを先に決める場合

シャッタースピードを先に決めて撮影する場合は、以下の手順で撮影します。

1 **シャッターチャージレバーを操作する**

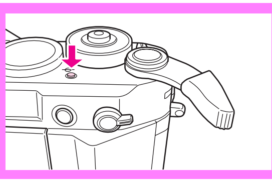


2 **シャッター速度ダイヤルを回し、設定したいシャッタースピードに合わせる**



注 意

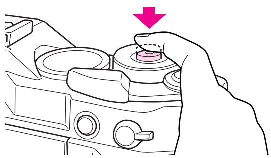
本機のシャッター速度ダイヤルは、「AE」の位置で自動的に固定されます。シャッター速度ダイヤルをAEの位置から動かす場合は、右図のロックボタンを押しながら操作してください。



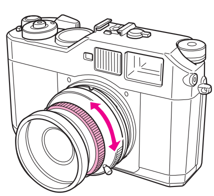
3 **シャッターボタンを半押しする**

露出計が作動し、ファインダー内に適正露出となるシャッタースピードが表示されます。

半押し後、露出計は約12秒間作動します。



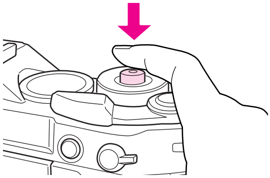
4 **レンズの絞りリングを回し、ファインダー内に表示されるシャッタースピードが、シャッター速度ダイヤルで設定した値と同じになる位置に合わせる**



5 **ピントを合わせる****（☞ 42ページ）**

6 シャッターボタンを全押しする

写真が撮影されます。



注 意　撮影直後はアクセスランプが点灯し、画像データをメモリーカードに書き込みます。アクセスランプが消灯するまで、本機の電源をOFFにしないでください。アクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、書き込み中の画像データが壊れたり、メモリーカードが使用できなくなるおそれがあります。

メ モ　シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体の場合でも、止まっているように見える写真を撮影できます。また、シャッタースピードを遅くすると、流動感のある写真を撮影できます。

手ブレを防ぐために

手ブレを防ぐためには、一般にシャッタースピードを「1／焦点距離」秒より速く設定します。（☞ 23 ページ）

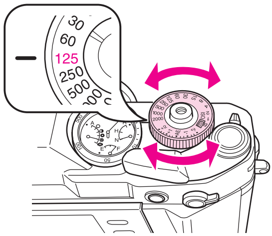
シャッタースピードが遅いときは、三脚を使用することをお勧めします。

◆フラッシュ撮影

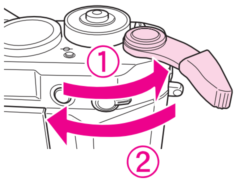
本機では、外部フラッシュ(市販品)を利用して、1/125 秒、またはそれよりも遅いシャッタースピードで同調撮影(シンクロ撮影)を行うことができます。外部フラッシュを使った撮影は、以下の手順で行います。

1 **外部フラッシュを取り付ける**

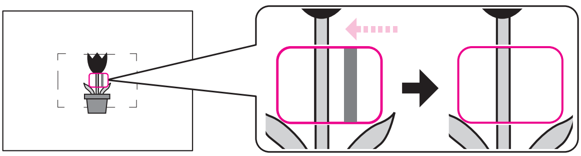
2 **シャッタースピードを「1/125」、またはそれよりも遅いスピードに合わせる**



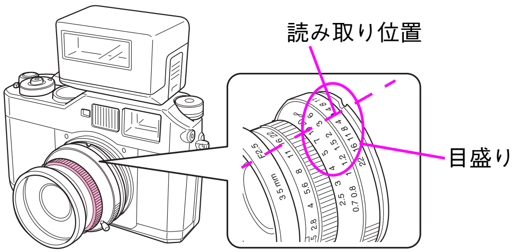
3 **シャッターチャージレバーを操作する**



4 **おおよそのピントを合わせる**



5 **レンズの目盛りを見て、被写体までの距離を読み取る**

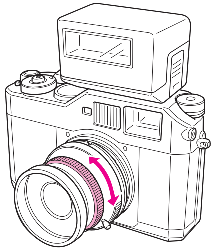


6 外部フラッシュ側の距離と絞りの関係を示した表から、適正な絞り値を読み取る

距離と絞りの関係を示した表については、外部フラッシュの取扱説明書を参照してください。

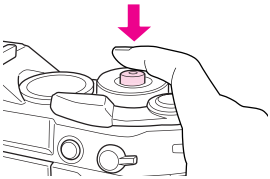
※ フラッシュの距離と絞りの関係は、フラッシュの光量(ガイドナンバー)によって異なります。

7 レンズの絞りリングを回し、適正な絞りに合わせる



8 再度、ピントを合わせ、シャッターボタンを全押しする

写真が撮影されます。



注 意

撮影直後はアクセスランプが点灯し、画像データをメモリーカードに書き込みます。アクセスランプが消灯するまで、本機の電源をOFFにしないでください。アクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、書き込み中の画像データが壊れたり、メモリーカードが使用できなくなるおそれがあります。

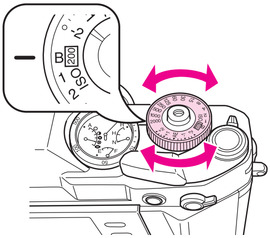
メ モ

外部フラッシュの詳しい使い方については、外部フラッシュの使用説明書をお読みください。

◆バルブ撮影

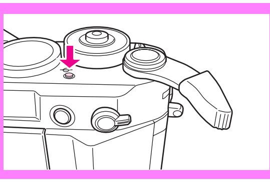
本機では、夜景や花火、天体などを撮影するときなど、長時間シャッターを開けたままにしておく「バルブ撮影」を行うことができます。バルブ撮影は、以下の手順で行います。

1 **シャッター速度ダイヤルを回し、「B」に合わせる**

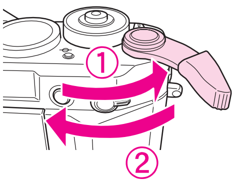


注 意

本機のシャッター速度ダイヤルは、「AE」の位置で自動的に固定されます。シャッター速度ダイヤルをAEの位置から動かす場合は、右図のロックボタンを押しながら操作してください。

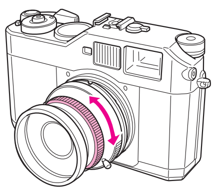


2 **シャッターチャージレバーを操作する**

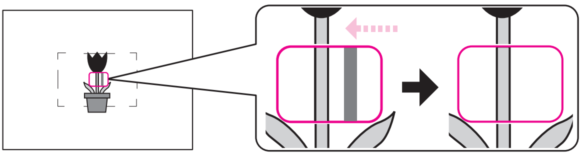


3 **レンズの絞りリングを回し、設定したい絞りに合わせる**

通常は、開放位置に合わせます。

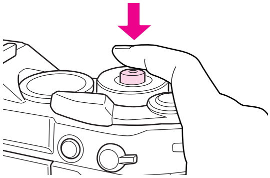


4 **ピントを合わせる**



5 露光したい時間だけシャッターボタンを押し続ける

シャッターボタンから指を離すと、撮影を終了します。シャッタースピードを「B」(バルブ)に設定した場合、シャッタースピードはファインダーに表示されません。

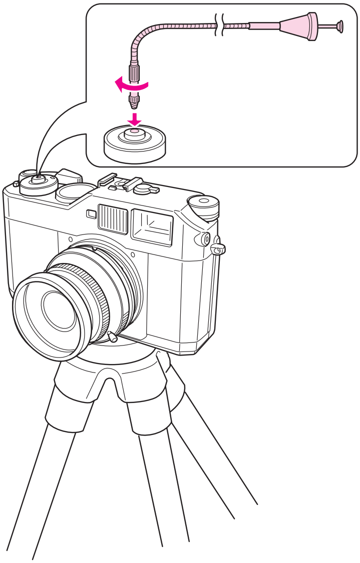


注 意

撮影直後はアクセスランプが点灯し、画像データをメモリーカードに書き込みます。アクセスランプが消灯するまで、本機の電源をOFFにしないでください。アクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、書き込み中の画像データが壊れたり、メモリーカードが使用できなくなるおそれがあります。

メ モ

- バルブ撮影を行うときは、手ブレを防止するために、三脚やレリーズをご使用いただくことをお勧めします。



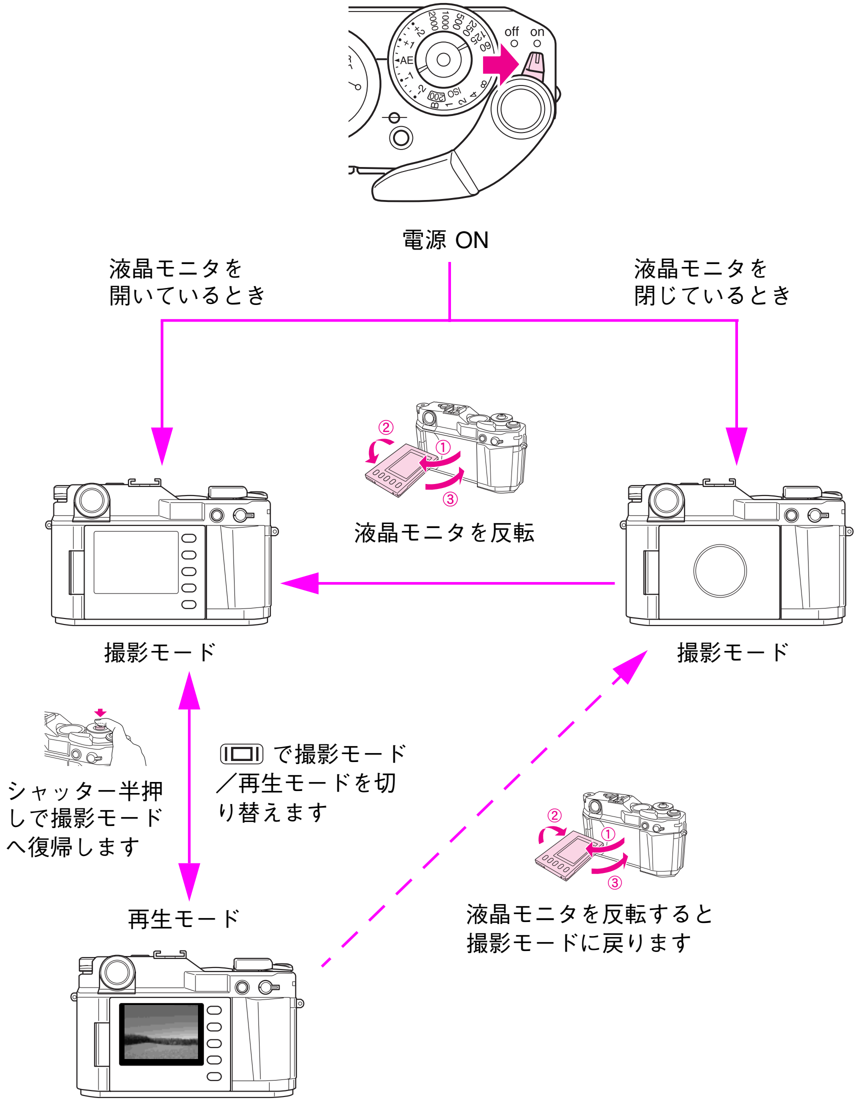
- 長時間露光ノイズ低減を「ON」に設定して（☞98 ページ）、遅いシャッタースピードで撮影したとき、ノイズ除去処理のため撮影時間が長くかかる場合があります。（ノイズ除去処理中に電源を OFF にしたり、バッテリがなくなると、ノイズ除去処理前の画像が記録されます。）

MEMO

3 章　再生

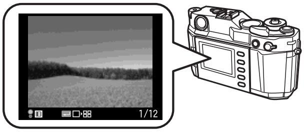
画像の再生

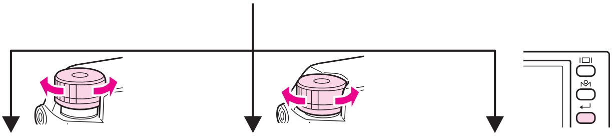
本機は電源を「ON」にすると、必ず撮影モードで起動します。撮影モードのとき、▭を押すと、再生モードに切り替えることができます。（再生モードに切り替えると、画像データのファイル番号が最も大きい画像が表示されます。）



表示の切り替え

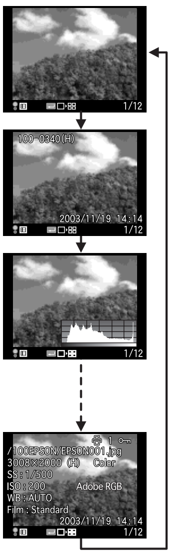
再生モード時の表示は、以下のように切り替えます。





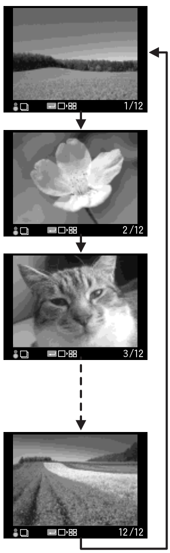
表示情報の変更

を上げて回すと表示する情報が変わります。
（☞ 68 ページ）



画像の変更

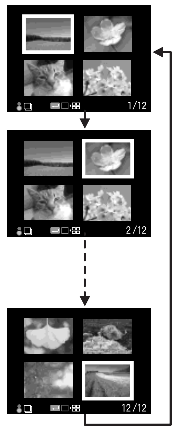
を下げて回すと画像が変わります。



4 分割表示に変更

を押すと、の位置や表示情報に関係なく、4 分割表示に変わります。

を回すと画像が変わります。
（☞ 69 ページ）



もう一度、を押すと、
4 分割表示前の表示に戻ります。

メ モ	初めて再生モードにしたときは、「標準表示」（☞ 68 ページ）で表示されます。（次回、再生モードにしたときは、前回の表示モードで表示されます。）

◆表示情報の見方

を引き上げて回すと以下の情報が表示されます。

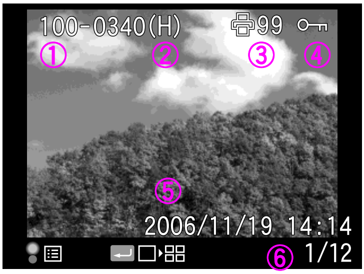
標準表示

①画像番号／総画像数



簡易情報表示

①ファイル番号
②画像品質
③印刷マーク＋枚数(印刷設定されている場合)
④保護マーク(保護されている場合)
⑤撮影日時
⑥画像番号／総画像数



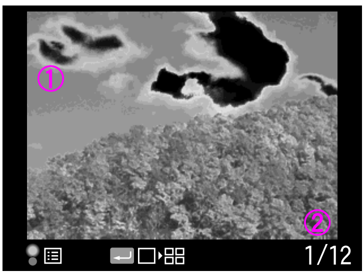
ヒストグラム表示

①ヒストグラム
②画像番号／総画像数

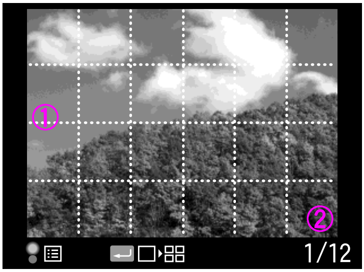


ハイライト表示

①ハイライト部(白色部と黒色部の交互点滅)
②画像番号／総画像数

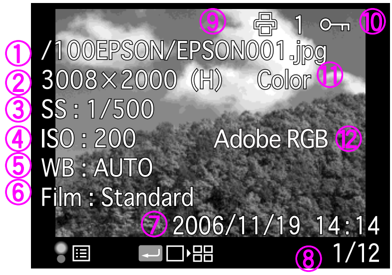


フレーミングガイド表示



①フレーミングガイド
②画像番号／総画像数

詳細情報表示



①フォルダを含むファイル名
②画像品質
③シャッタースピード
④ ISO 感度
⑤ホワイトバランス
・AUTO：オート　・Daylight：晴天
・Cloudy：曇天　・Shade：日陰
・Fluorescent：蛍光灯　・Incandescent：白熱電球
⑥フィルム設定
・Standard：標準設定
・E：エッジ強調 ・S：彩度 ・T：色合い ・C：コントラスト ・N：ノイズ低減
※ L ＝弱、M －＝やや弱、M ＝中、M ＋＝やや強、H ＝強
⑦撮影日時
⑧画像番号／総画像数
⑨印刷マーク＋枚数（印刷設定されている場合）
⑩保護マーク（保護されている場合）
⑪カラー設定
⑫色空間

◆ 4 分割表示の見方

[↵] を押すと、4 分割表示に切り替わります。

4 分割表示



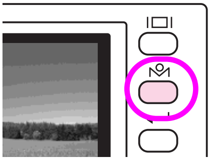
①選択中の画像の画像番号／総画像数

画像を拡大する

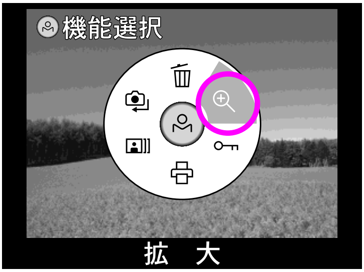
ピントが合っているか確認するときなど、画像を拡大して確認することができます。

1 再生モードで拡大したい画像を表示させ、[ボタン] を押す

「機能選択メニュー」が表示されます。



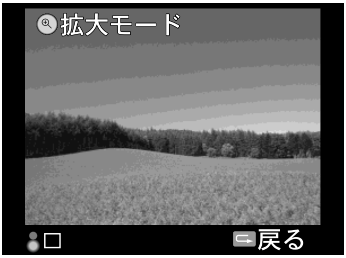
2 [ダイヤル] で [拡大アイコン]（拡大）を選び、[決定ボタン] を押す

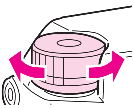


メ モ	最大約 16 倍まで拡大できます。

拡大画面での操作

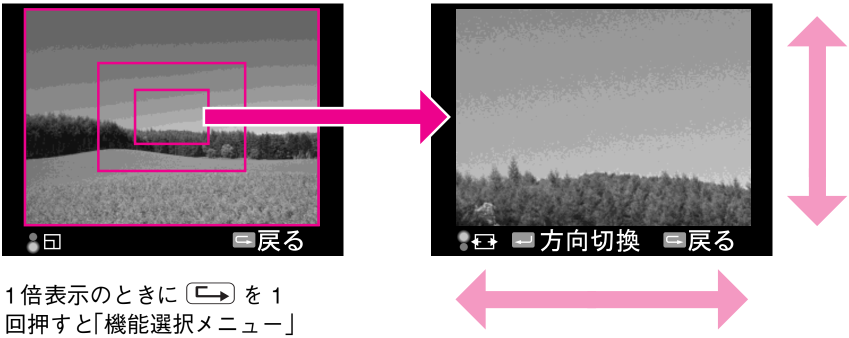
拡大モードでは､以下のように操作します。





JOG ダイヤル（下）を回すと､画像が拡大表示されます。
（最大約 16 倍）

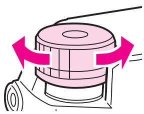
例）約 4 倍表示の場合



1 倍表示のときに を 1 回押すと｢機能選択メニュー｣に戻ります。

■画像を移動する

拡大表示のときに JOG ダイヤル（上）を回すと､画像が上下左右に移動します。



上下と左右の移動方向は､ で切り換えます。

■ 1 倍表示に戻る

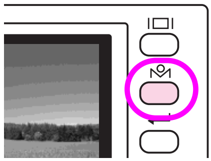
拡大表示のときに を 1 回押すと1 倍表示に戻ります。

画像を保護する

大切な画像を間違って消去することがないように、画像ファイルを保護することができます。保護された画像ファイルは、消去ができなくなります。

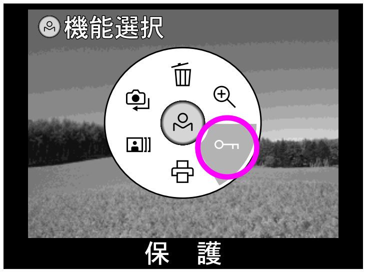
1 **再生モードで保護したい画像を表示させ、 を押す**

「機能選択メニュー」が表示されます。



2 **で（保護）を選び、 を押す**

保護モードになります。

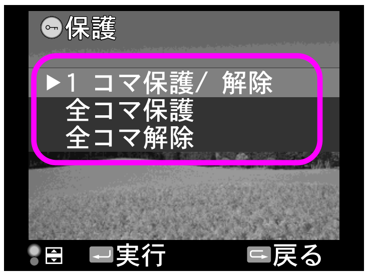


3 **を引き上げて「1 コマ保護／解除」または「全コマ保護」を選び、 を押す**

「1 コマ保護／解除」を選ぶと、現在表示中の画像を保護します。

を通常の位置に戻して回すと、保護したい画像を選ぶことができます。

「全コマ保護」を選ぶと、メモリーカード内の画像をすべて保護します。



注 意　保護された画像でも、「メモリーカードのフォーマット」を行うと消去されます。

メ モ　保護された画像は、ファイルの属性が「読み取り専用」になります。

保護を解除する

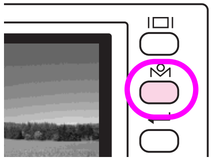
1 コマごとに画像の保護を解除する場合は、上記の手順 3 で、「1 コマ保護／解除」を選びます。すべての画像の保護を解除する場合は、上記の手順3 で、「全コマ解除」を選びます。

画像を削除する

不要な画像ファイルを削除することができます。

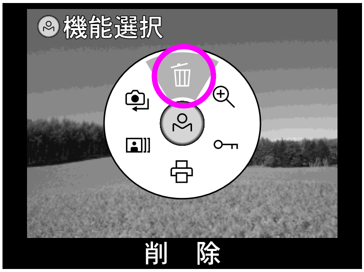
1 再生モードで削除したい画像を表示させ、 を押す

「機能選択メニュー」が表示されます。



2 で （削除）を選び、 を押す

削除モードになります。



3 を引き上げて「1 コマ削除」または「全コマ削除」を選び、 を押す

削除確認画面が表示されます。

を通常の位置に戻して回すと、削除したい画像を選ぶことができます。

※画面右上に「」が表示されている画像は削除できません。



4 「実行」を選び、 を押す

画像が削除されます。



注　意

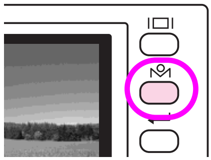
- 「保護」に設定されている画像ファイルは削除できません。（全コマ削除を実行した場合でも、「保護」に設定されている画像ファイルは削除されずに残ります。）
- RAW データと JPEG データを同時に保存するよう設定して撮影した画像は、両方のデータが削除されます。

画像の印刷枚数を設定する

本機は、DPOF（☞75 ページ）に対応しています。本機で印刷枚数を指定しておくと、プリントサービスのお店にプリントを依頼する場合、プリントしたい画像の指定や枚数の記入が不要となります。また、DPOF 対応のプリンタでプリントを行う場合でも、特別な指定をしなくても指定したとおりの枚数でプリントできます。

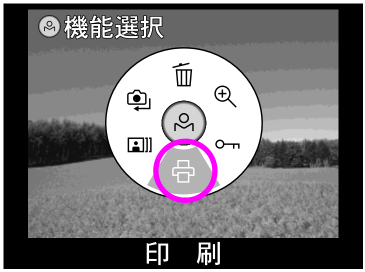
1　再生モードで印刷枚数を設定したい画面を表示させ、 を押す

「機能選択メニュー」が表示されます。



2　 で （印刷）を選び、 を押す

印刷モード設定画面が表示されます。

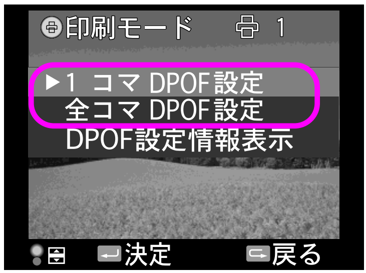


3　 を引き上げて「1 コマ DPOF 設定」または「全コマ DPOF 設定」を選び、 を押す

枚数設定画面が表示されます。

を通常の位置に戻して回すと、印刷枚数を設定したい画像を選ぶことができます。

表示中の画像について印刷指定をする場合は「1 コマ DPOF 設定」を、すべての画像について同じ枚数の印刷指定をする場合は「全コマ DPOF 設定」を選択します。



注　意　SD メモリーカードの空き容量がないと、DPOF 設定ができません。針式インジケータの撮影残枚数の表示を確認してください。

4 で印刷枚数を設定し、を押す

印刷枚数は1つの画像ごとに99枚まで設定することができます。

すでに他のデジタルカメラなどでDPOFの設定がされている場合は、設定が変更されることを示す確認画面が表示されます。

を押すと、「1コマDPOF設定／全コマDPOF設定／DPOF設定情報表示」を選択する画面に戻ります。



DPOF設定情報を確認する

印刷枚数の設定（DPOF）を確認したいときは、前ページの手順3で「DPOF設定情報表示」を選びます。現在の DPOF 設定情報が表示され、総印刷枚数などを確認することができます。

※ 他の機器で総印刷枚数が1000枚以上に設定されている場合は「999枚」と表示されます。



印刷枚数の設定（DPOF）を解除する

印刷枚数の設定（DPOF）を解除する場合は、上記の手順4で印刷枚数を「0」枚に設定します。（印刷マークと印刷枚数が消えます。）

メ　モ

- Exif2.21に対応していないデータや画像を表示できないデータは、印刷枚数の指定ができません。
- RAW形式で撮影した画像データ（RAWデータ）は、DPOFに対応していません。
- DPOF設定は印刷合計枚数999枚まで可能です。（印刷枚数が合計1000枚以上になると、設定できなくなります。）

DPOFとは

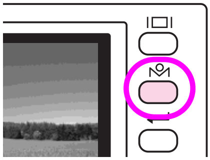
「DPOF」とは、Digital Print Order Format の略で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するための情報（印刷したい画像とその枚数指定など）をSDメモリーカードなどの記録媒体に記録するフォーマットです。

画像をスライドショーで再生する

スライドショー機能を使って、本機で撮影した画像を自動的に切り替えて順番に再生できます。再生間隔は約 3 秒です。

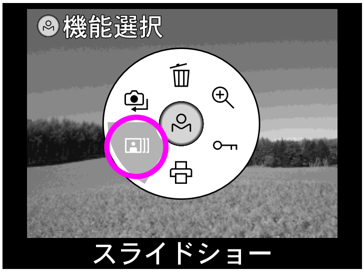
1 再生モードで［機能選択］を押す

「機能選択メニュー」が表示されます。



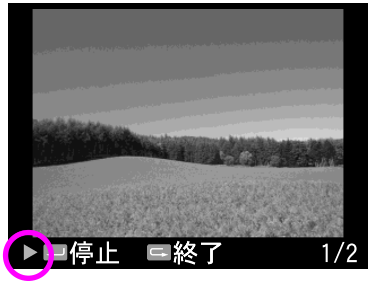
2 ［ダイヤル］で［スライドショー］（スライドショー）を選び、［決定］を押す

スライドショーを開始します。



［ダイヤル］を反時計回りに回すと、最初の画像から最後の画像までの、順方向のスライドショーになります。このとき、画面左下の三角形のマークは右を向いています。

［ダイヤル］を時計回りに回すと、最後の画像から最初の画像までの、逆方向のスライドショーになります。このとき、画面左下の三角形のマークは左を向いています。



スライドショーを停止する

スライドショー再生中に［決定］を押すとスライドショーを一時停止し、もう一度押すと再開します。（スライドショーを一時停止しているときに［ダイヤル］を回すと、画像をコマ送りで再生することができます。）

スライドショー再生中に［戻る］を押すとスライドショーを中止して、「機能選択メニュー」に戻ります。

4章　設定

設定項目一覧

◆機能選択メニュー

項目	設定内容（__: 初期値）	参照ページ
削除	1 コマ削除、全コマ削除	73 ページ
拡大	ー	70 ページ
保護	1 コマ保護／解除、全コマ保護、全コマ解除	72 ページ
印刷設定	1 コマ DPOF 設定、全コマ DPOF 設定、DPOF 設定情報表示	74 ページ
スライドショー	ー	76 ページ
設定	→「設定メニュー」へ	78 ページ

◆設定メニュー

項目	設定内容（__: 初期値）		参照ページ
カラー設定	カラー		92 ページ
	モノクロ	モノクロフィルター ・標準設定 ・グリーン ・イエロー ・オレンジ ・レッド	92 ページ
基本設定	→「基本設定メニュー」へ		79 ページ
SD カードフォーマット	クイックフォーマット、完全フォーマット		99 ページ
撮影設定初期化	実行、取消		100 ページ
長時間露光ノイズ低減	ON、OFF		98 ページ
色空間	sRGB 、Adobe RGB		97 ページ
RAW 設定	RAW 、RAW ＋ JPEG		96 ページ

フィルム設定	標準設定	エッジ強調：中 彩度：中 色合い：中 コントラスト：中 ノイズ低減：弱	☞ 93 ページ
	フィルム 1 フィルム 2 フィルム 3	フィルム 1：人物撮影に適した設定の組み合わせです。 フィルム 2：風景撮影に適した設定の組み合わせです。 フィルム 3：夜景撮影に適した設定の組み合わせです。	☞ 94 ページ

◆基本設定メニュー

項目	設定内容（__: 初期値）	参照ページ
日時設定	2006.01.01　00:00	☞ 80 ページ
年月日表示設定	年月日、日月年、月日年	☞ 82 ページ
節電移行時間設定	3 分、5 分、10 分、20 分	☞ 83 ページ
連番設定	記憶する、記憶しない	☞ 84 ページ
液晶モニタ 明るさ調整	8 段階をバーで表示 5 番目	☞ 85 ページ
言語設定	日本語、English、French、German、Italian、Spanish、Dutch、T-Chinese	☞ 86 ページ
針表示調整	ー	☞ 87 ページ
輝点画素補正	実行、取消	☞ 89 ページ
クイックビュー	3 秒、10 秒、OFF	☞ 90 ページ
USER ボタン設定	1 コマ削除、1 コマ保護、拡大モード、印刷モード、フィルム	☞ 91 ページ

日時を設定する

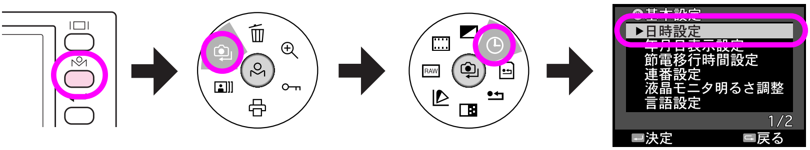
本機の日時設定を調整するときは､以下の手順で日時を設定します。

注 意

- 初めて本機の電源を ON にしたとき、または、バッテリが切れた後数日経過して初めて本機の電源を ON にしたときは、自動的に「日時設定」の画面（手順 2 ）が表示されます。このときの日時は、以下のようになります。
  - SD メモリーカードがセットされていないとき:｢2006.01.01｣
  - SDメモリーカードがセットされているとき:｢SDメモリーカード内の最後に撮影した画像の日時｣(ただし､SDメモリーカードに画像データがない場合は､｢2006.01.01｣)
- 液晶モニタが裏向きになっているときは、液晶モニタを表向きにして、を押したときに、自動的に「日時設定」の画面（手順 2 ）が表示されます。
- 液晶モニタが裏向きになっているときは、日時設定をしないまま撮影することができますが、このとき画像データに記録される日時は、以下のようになります。
  - SD メモリーカードがセットされていないとき:｢2006.01.01｣
  - SDメモリーカードがセットされているとき:｢SDメモリーカード内の最後に撮影した画像の日時の 2 秒後｣(ただし､SD メモリーカードに画像データがない場合は､｢2006.01.01｣)

1 再生モードで を押し､ (設定)－ (基本設定)－[日時設定]を選ぶ

｢日時設定画面｣が表示されます。



2 で｢年｣の 数 値 を 選 び、を押す

｢年｣の数値が確定され､｢月｣の項目に移動します。

を押すと､1 つ前の項目に戻ります。



3 同様の手順で、「月」「日」「時」「分」を設定する

「分」の数値を確定すると、日時の設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。



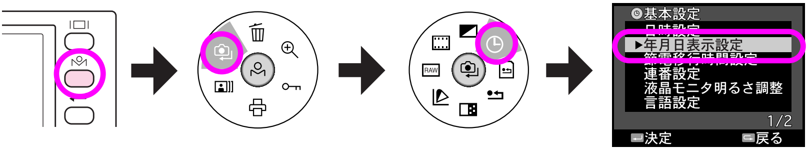
メモ	本機の時計用電池は、バッテリ残量がなくなってから数日間保持されます。(保持される期間は環境や条件によって異なります。)

日時の表示形式を設定する

本機では、年月日の表示形式を選択できます。表示形式は、以下の手順で設定します。

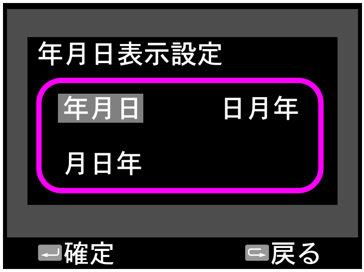
1 再生モードで を押し、(設定)－(基本設定)－[年月日表示設定]を選ぶ

「年月日表示設定画面」が表示されます。



2 で年月日の表示形式を選び、を押す

表示形式の設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。



節電移行時間を設定する

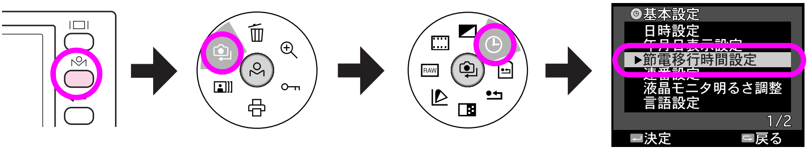
本機の電源がONになっているときに操作をしないまま放置すると、節電機能が働いて自動的に液晶モニタを OFF にしてバッテリの消耗を抑えることができます。このとき、針式インジケータの「バッテリ残量表示」の針のみが電源 OFF 時の待機位置に戻ります。

節電機能が働いたときは、いずれかのボタンを押すと通常の状態に復帰します。

節電移行時間は 3 分／ 5 分／ 10 分／ 20 分から選択できます。節電移行時間は以下の手順で設定します。

1 再生モードで [メニュー] を押し、[設定]（設定）－ [時計]（基本設定）－[節電移行時間設定] を選ぶ

「節電移行時間設定画面」が表示されます。



2 [ダイヤル] で節電移行時間を選び、[↵] を押す

節電移行時間の設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。



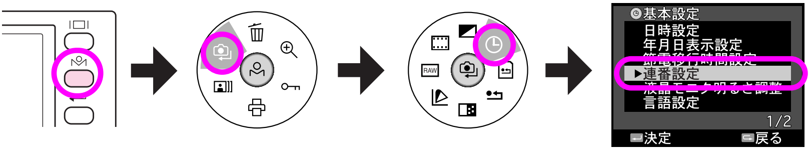
連番を設定する

本機では、撮影時のファイル番号の「記憶する／記憶しない」が選択できます。「記憶する」に設定すると、メモリーカードを交換した場合でも続きのファイル番号で撮影します。「記憶しない」に設定すると、メモリーカードを交換した際にファイル番号がリセットされます。

連番は以下の手順で設定します。

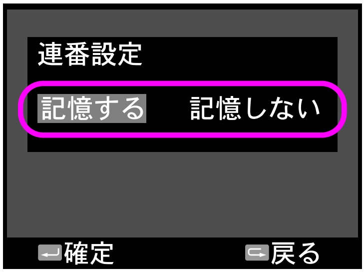
1 再生モードで を押し、（設定）－ （基本設定）－[連番設定]を選ぶ

「連番設定画面」が表示されます。



2 で連番の設定を選び、 を押す

連番設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。



メ モ

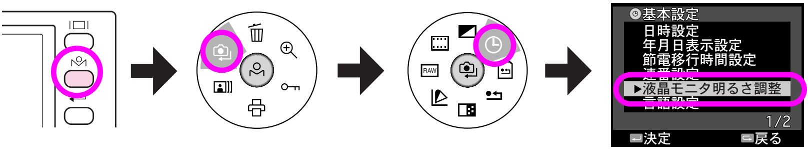
- メモリーカードを交換した際に、メモリーカード内に本機の撮影データが残っている場合は、ファイル番号は残っている撮影データの最後のファイル番号の次の番号から始まります。
- 「記憶する」に設定した場合は、SD メモリーカードをフォーマットした場合でもファイル番号を記憶しています。

液晶モニタの明るさを調整する

本機では、液晶モニタの明るさを8段階に調整できます。液晶モニタの明るさは、以下の手順で調整します。

1 再生モードで［再生メニュー］を押し、［設定］（設定）－［基本設定］（基本設定）－［液晶モニタ明るさ調整］を選ぶ

「液晶モニタ明るさ調整画面」が表示されます。



2 ［ダイヤル］で明るさを選び、［決定］を押す

液晶モニタの明るさ設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

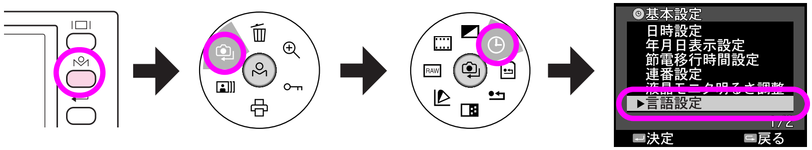


表示言語を設定する

本機では、液晶モニタに表示される言語を選択できます。表示言語は、以下の手順で設定します。

1 再生モードで を押し、（設定）－（基本設定）－[言語設定]を選ぶ

「言語設定画面」が表示されます。



2 で言語の設定を選び、 を押す

言語設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

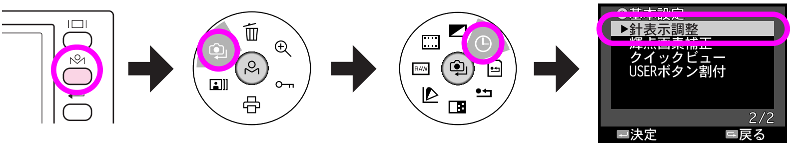


針の位置を調整する

本機では、画像品質／ホワイトバランス／撮影残枚数／バッテリ残量を「針式インジケータ」で表示しています。この針式インジケータの針は、物理的な衝撃などによってずれることがあります。針式インジケータの針がずれた場合は、以下の手順で調整します。

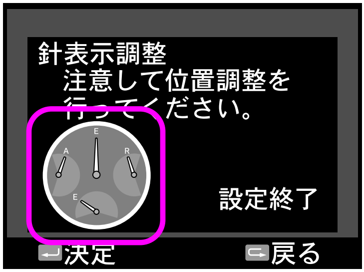
1 再生モードで を押し、(設定)－(基本設定)－[針表示調整]を選ぶ

「針表示調整画面」が表示されます。



2 で調整したい針を選び、を押す

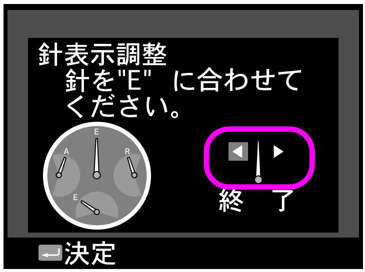
針が調整位置に移動している間は画面に「針移動中」と表示され、この間は操作できません。



3 針を原点に戻す

で、◀ ▶ を選びます。

を押すごとに、選択した方向に針が1目盛りずつ回転します。



次のページへ続く

4 針が原点に戻ったら（ダイヤル）で「終了」を選び、（↵）を押す

「針表示調整画面」に戻ります。

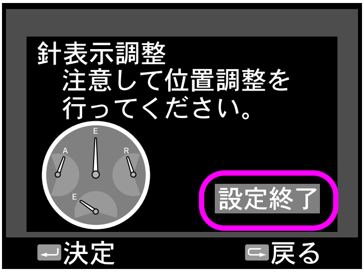


5 他の針の調整を行うときは、手順2へ、針調整を終了するときは手順6へ進む

6 （ダイヤル）で「設定終了」を選び（↵）を押す

針調整を終了し、「設定メニュー」に戻ります。調整した針は現在値を示します。

右の画面で（⮑）を押すと、調整内容が破棄され、「設定メニュー」に戻ります。（調整内容は反映されていません。）



輝点画素を登録する

本機では、CCDの輝点画素（☞38ページ）の位置を検出し登録できます。一旦輝点画素を登録すると、以降の撮影では対象となる輝点が自動的に補正されるようになります。

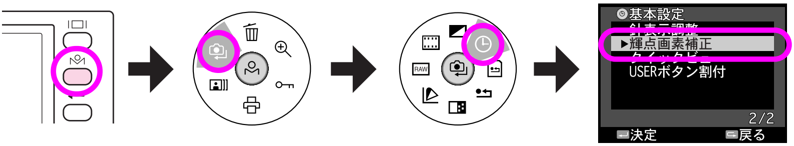
輝点画素は以下の手順で登録します。

1 本機にレンズ部カバーを取り付ける

注 意　必ずレンズ部カバーを装着してください。CCDに光が当たる状態でこの機能を実行すると、正しく機能する画素まで補正の対象になってしまいます。

2 再生モードで を押し、（設定）－（基本設定）－［輝点画素補正］を選ぶ

「輝点画素補正画面」が表示されます。



3 で「実 行」を 選 び、 を押す

輝点画素が登録され、「基本設定」に戻ります。



メ モ　輝点が目立つ場合、数ヶ月に一度を目安に実行してください。この機能を連続して使用しても症状は改善されません。輝点が残ってしまう場合は、長時間露光ノイズ低減機能を「ON」にすると症状が改善されることがあります。（☞98ページ）

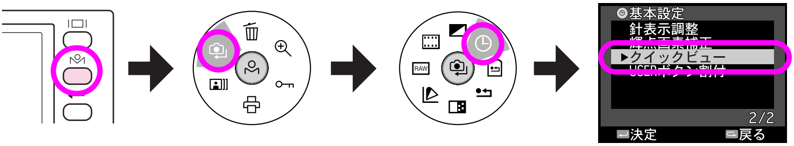
クイックビューを設定する

本機では、撮影時には液晶モニタに何も表示されませんが、撮影直後に画像を表示させるように設定できます。この機能を「クイックビュー」と呼んでいます。

クイックビューは以下の手順で設定します。

1 再生モードで を押し、(設定)－(基本設定)－[クイックビュー]を選ぶ

「クイックビュー画面」が表示されます。



2 でクイックビューの表示時間または「OFF」を選び、 を押す

クイックビューが設定され、「基本設定」に戻ります。

「OFF」に設定した場合は、クイックビューは実行されません。



USER ボタンを設定する

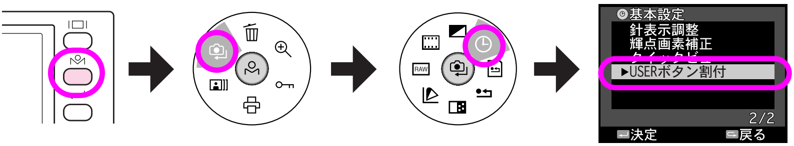
本機では、液晶モニタの右下にある に以下の中から任意の機能を割り当てることができます。

1 コマ削除／1 コマ保護／拡大モード／印刷モード／フィルム

 の機能は、以下の手順で設定します。

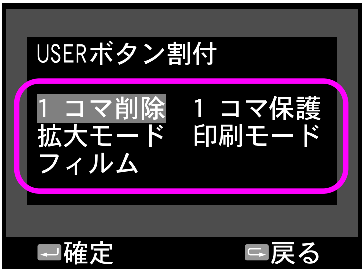
1 再生モードで を押し、(設定)−(基本設定)−[USER ボタン割付]を選ぶ

「USER ボタン設定画面」が表示されます。



2 で USER ボタンに設定したい機能を選び、 を押す

USER ボタンの機能設定を終了し、「設定メニュー」に戻ります。

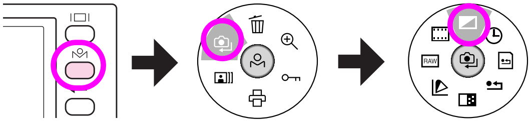


撮影時のカラーを設定する

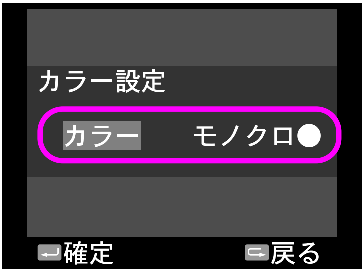
本機では、撮影時のカラーを「カラー／モノクロ」から選択できます。また、「モノクロ」を選択した場合は、モノクロフィルターを設定することができます。撮影時のカラーは、以下の手順で設定します。

1 再生モードで [メニュー] を押し、[設定アイコン]（設定）－ [カラー設定アイコン]（カラー設定）を選ぶ

「カラー設定画面」が表示されます。

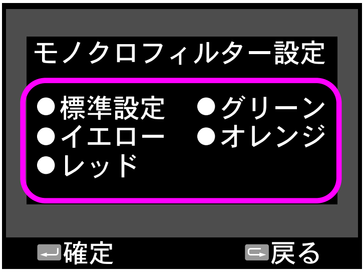


2 [ダイヤル] で「カラー」または「モノクロ」を選び、[確定ボタン] を押す（撮影時に「モノクロフィルター」を使用する場合は「モノクロ」を選び、[メニュー] を押して手順 3 へ）



カラー設定を終了し、「設定メニュー」に戻ります。モノクロフィルターを使用するときは、手順3へ進みます。

3 モノクロフィルターを使用する場合は、[ダイヤル] で設定したいフィルターを選び、[確定ボタン] を押す



モノクロフィルターでは、「標準、グリーン、イエロー、オレンジ、レッド」のフィルターを選択できます。レンズにカラーフィルターを装着して白黒写真を撮影した時のような効果が得られます。

- ・標準設定： フィルターなしの場合です。
- ・グリーン： 人肌が落ち着いた表現になり、人物撮影に適します。
- ・イエロー、オレンジ、レッド：
  コントラストが強調され、風景撮影に適します。イエロー＜オレンジ＜レッドの順に強調度合いが強くなります。

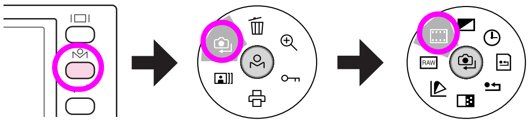
モノクロフィルターを設定すると、カラー設定を終了し、「設定メニュー」に戻ります。

フィルムを設定する

本機では、標準設定以外にフィルム 1 ～ 3 のフィルム設定を記憶し、選択することができます。撮影時のフィルムは以下の手順で選択します。

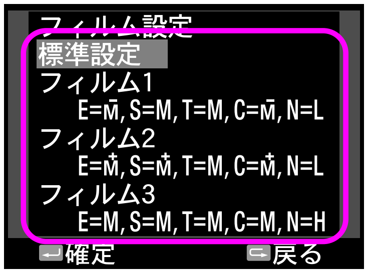
1 再生モードで を押し、（設定）－（フィルム設定）を選ぶ

「フィルム設定画面」が表示されます。



2 で設定したいフィルムを選び、を押す

選択したフィルムが設定されます。



フィルム	内容	設定詳細
標準設定	実際の色に忠実、素直な色になります。	エッジ強調：中 彩度：中 色合い：中 コントラスト：中 ノイズ低減：弱
フィルム 1	それぞれ、右の通り撮影シーンに適した設定の組み合わせになっています。 自分の好みに応じて、設定値を変更することもできます。 （「フィルムタイプを設定する」☞94 ページ）	人物撮影
フィルム 2		風景撮影
フィルム 3		夜景撮影

フィルムタイプを設定する

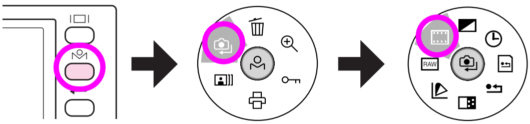
フィルム1～3には、エッジ強調／彩度／色合い／コントラスト／ノイズ低減を自分の好みに合わせて設定し、登録することができます。フィルム1～3は、以下の手順で設定します。

購入時は、撮影シーンに適した設定の組み合わせになっています。各設定値に対応する撮影シーンは以下の通りです。

- 「フィルム1」：人物撮影
- 「フィルム2」：風景撮影
- 「フィルム3」：夜景撮影

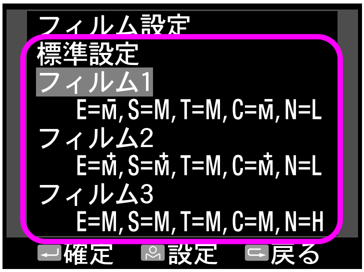
1 再生モードで ボタン を押し、(設定)－(フィルム設定)を選ぶ

「フィルム設定画面」が表示されます。

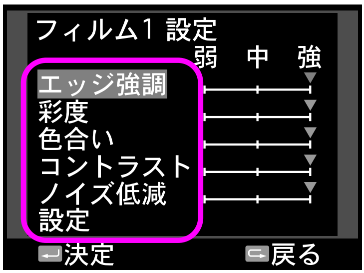


2 ダイヤルで設定したいフィルム(フィルム 1 ～ 3)を選び、ボタン を押す

設定画面が表示されます。

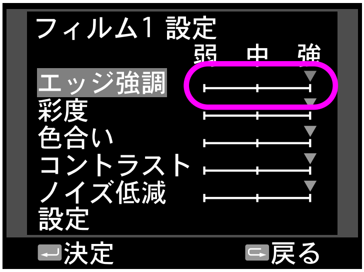


3 ダイヤルで設定を変更したい項目を選び、ボタン を押す



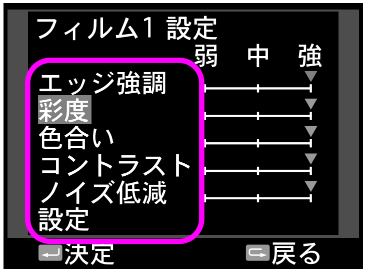
4 で設定値を選び、を押す

設定画面に戻ります。



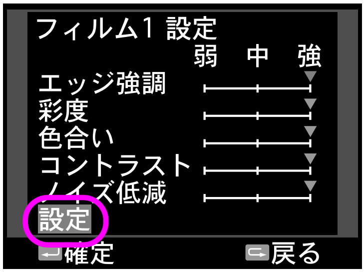
5 手順 3､4 と同様の手順で､他の設定を変更したい項目を設定する

設定を途中で中止したい場合は を押すと設定破棄の確認画面が表示され､設定内容を変更せずに終了できます。



6 で｢設定｣を選び、を押す

フィルム設定を終了し､｢設定メニュー｣に戻ります。



メモ

｢撮影設定初期化｣(☞ 100 ページ)を行うと､変更した設定値は購入時の設定値に戻ります。ただし､｢フィルム設定｣だけでなくほかの設定も購入時の設定値に戻ります。

RAW データ保存時の設定を変更する

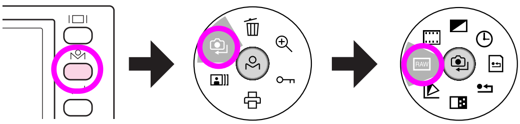
本機では、画像品質を「R」に設定して撮影したときの画像データの保存形式について、RAW データと JPEG データの両方を同時に保存するか、RAW データのみ保存するかを選択できます。

RAW データと JPEG データの両方を同時に保存するとき、JPEG データの記録サイズは、画像品質を「H」に設定して撮影した画像と同じサイズ（約 600 万画素）になります。

画像データの形式は以下の手順で設定します。

1 再生モードで を押し、（設定）－ （RAW 設定）を選ぶ

「RAW 設定画面」が表示されます。



2 で画像データの保存形式を選び、 を押す

画像データの形式が設定され、「基本設定」に戻ります。



メ モ	RAW データと JPEG データの両方を同時に保存したとき、ファイル名は拡張子を除いて同じになります。 例えば、RAW データは「EPSN0031.ERF」、JPEG データは「EPSN0031.JPG」というファイル名で保存されます。

色空間を設定する

本機では、撮影した画像データに設定する色空間を選択できます。

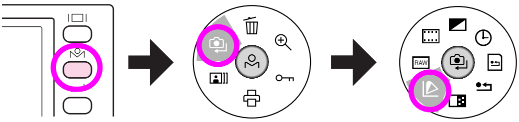
選択できる色空間は以下の通りです。

色空間	内容
sRGB	Windows を中心とした標準的な色空間です。対応しているアプリケーションソフトが多く、また、インターネット Web ページでの使用に適しています。
Adobe RGB	sRGB よりも色の再現範囲が広くなり、より高彩度な色を表現することができます。 Adobe RGB をサポートしていないアプリケーションソフトでは意図しない色が再現される場合があります。

色空間は以下の手順で設定します。

1 再生モードで を押し、（設定）－ （色空間）を選ぶ

「色空間画面」が表示されます。



2 で色空間を選び、 を押す

画像データの形式が設定され、「基本設定」に戻ります。



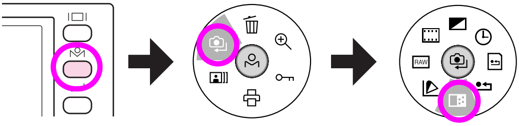
長時間露光ノイズ低減を設定する

本機では、遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを低減するように設定できます。

長時間露光ノイズ低減は以下の手順で設定します。

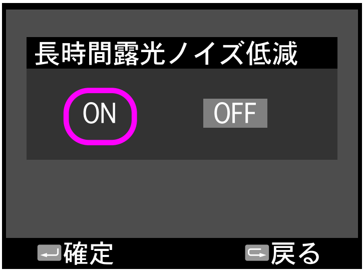
1　再生モードで［ボタン］を押し、（設定）－（長時間露光ノイズ低減）を選ぶ

「長時間露光ノイズ低減画面」が表示されます。



2　［ダイヤル］で長時間露光ノイズ低減の「ON」を選び、［ボタン］を押す

長時間露光ノイズ低減が設定され、「基本設定」に戻ります。



注　意

- 長時間露光ノイズ低減を「ON」に設定すると、「OFF」に設定したときと比べて撮影時の処理時間が約 2 倍になります。
- 長時間露光ノイズ低減を「ON」に設定しても、ISO　感度とシャッタースピードの設定によっては、ノイズ低減が有効にならない場合があります。

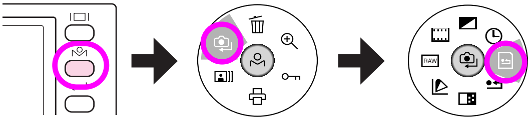
メモリーカードをフォーマットする

本機では、「クイックフォーマット」と「完全フォーマット」の 2 種類の方法で SD メモリーカードをフォーマットできます。SD メモリーカードの廃棄、譲渡、貸与など、個人的な画像を見られたくないときは、「完全フォーマット」を行ってください。

SD メモリーカードのフォーマットは、以下の手順で行います。

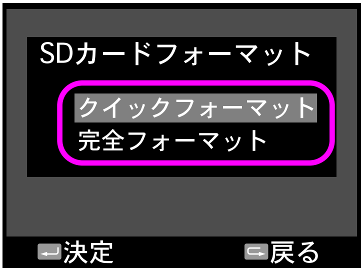
1 再生モードで を押し、（設定）－ （SD カードフォーマット）を選ぶ

「SD カードフォーマット画面」が表示されます。



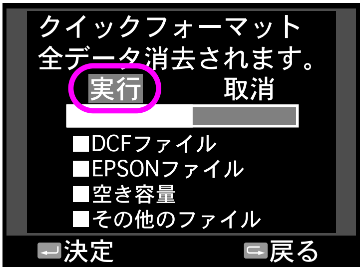
2 でフォーマットの種類を選び、 を押す

通常は「クイックフォーマット」を選択します。「完全フォーマット」は、SD メモリーカード内のデータを復元できないようにするときに選択します。フォーマットの種類を選択すると、SD メモリーカード内の内訳が表示されます。



3 で「実行」を選び、 を押す

SD メモリーカードがフォーマットされ、「設定メニュー」に戻ります。



- ・DCF ファイル：
  DCF 規格に準拠した画像ファイルです。
- ・EPSON ファイル：
  EPSON 独自のファイルなどです。
- ・空き容量：
  この SD メモリーカードの空き容量です。
- ・その他のファイル：
  上記に該当しないデータファイル（文書ファイルや音楽ファイルなど）です。

注 意　フォーマット中は電源を切らないでください。電源を切るとフォーマットが中断され、正しくフォーマットできません。

メ モ　バッテリが少ない場合、完全フォーマットを実行しようとしても、実行されません。バッテリを充電してから実行してください。（「バッテリの充電」☞ 18 ページ）

撮影設定を初期化する

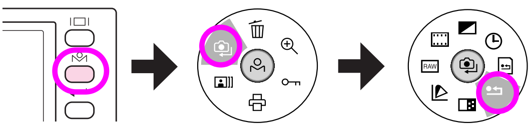
本機では、撮影設定を購入時の設定に戻す（初期化する）ことができます。「撮影設定初期化」を行うと、撮影設定は購入時の設定に戻ります。

設定項目	初期設定値
日時表示形式	年月日
節電移行時間設定	5 分
連番設定	記憶する
液晶モニタ明るさ調整	8 段階中の 5 番目 （1 番目が最も暗く、8 番目が最も明るい）
言語設定	日本語
クイックビュー	OFF
USER ボタン設定	1 コマ削除
カラー設定	カラー
フィルム設定	標準設定 （フィルム 1 ～ 3 の設定内容も、購入時の設定に戻ります。）
RAW 設定	RAW
色空間	sRGB
長時間露光ノイズ低減	OFF

以下の手順で撮影設定を初期化します。

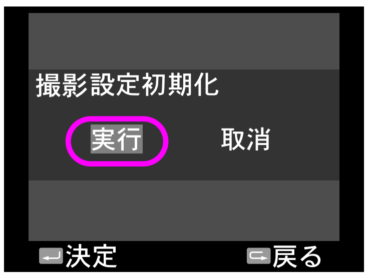
1 再生モードで を押し、（設定）－（撮影設定初期化）を選ぶ

「撮影設定初期化画面」が表示されます。



2 で「実行」を選び、を押す

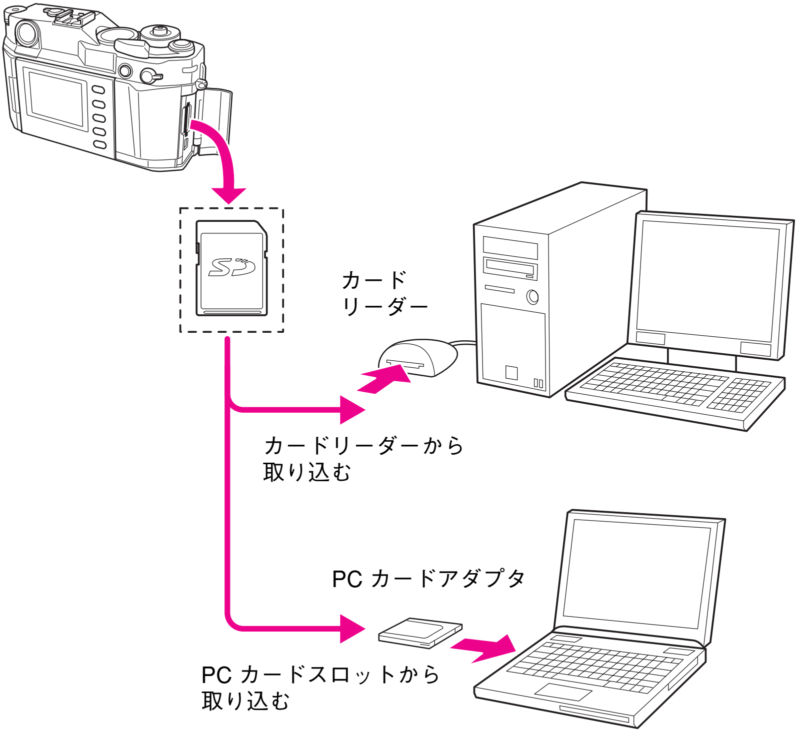
撮影設定が初期化され、「設定メニュー」に戻ります。



5 章　データ保存･活用

画像データを保存する

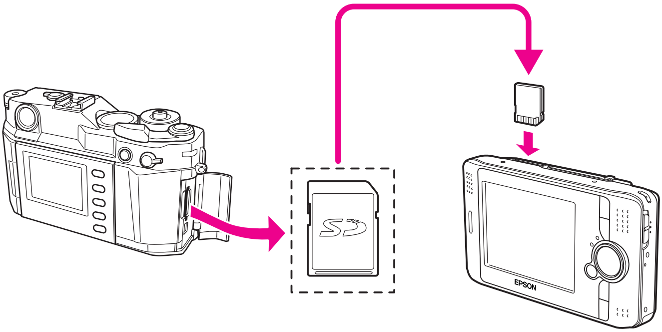
本機で撮影した画像データは、カードリーダー、PC カードスロットなどを使用してパソコンなどに保存できます。パソコンを使って、保存した画像の整理や、本機に付属の現像ソフトウェアを使ってRAW データの現像などができます。



画像データを活用する

本機で撮影した画像データは、以下のように活用することができます。

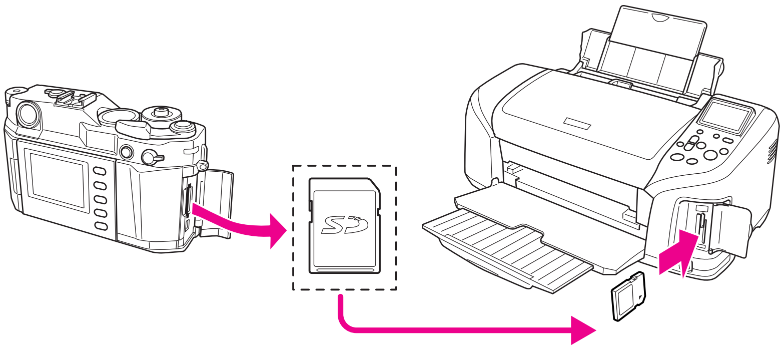
◆画像データを見る



フォトビューワに取り込んで活用する

メモ	RAW モードで撮影した画像は、表示できないことがあります。詳しくはフォトビューワの取扱説明書をお読みください。

◆画像データを印刷する



SD メモリーカードに対応可能なメモリーカードスロット付きのプリンタでプリントする

メモ	RAWモードで撮影した画像は、プリンタでのダイレクト印刷はできません。

MEMO

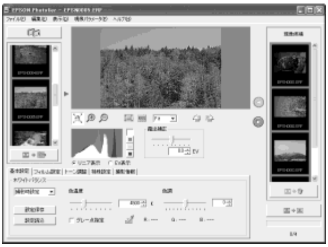
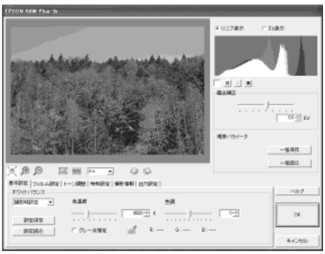
6章　インストール

準備

画像品質を「R」(RAW 形式)に設定して撮影した画像データ(RAW データ)は、拡張子が「ERF」のファイルとして保存されます。この ERF ファイルは本機に付属しているソフトウェアを使用して、JPEG ファイルや TIFF ファイルとして出力します。(これを「現像」といいます。)

◆付属のソフトウェア

本機には、以下の現像用のソフトウェアが添付されています。(ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。)
現像アプリケーションソフト「EPSON Photolier(フォトリエ)」、または「EPSON RAW Plug-In」を使って RAW データを現像できます。

添付ソフトウェア	内容
現像アプリケーションソフト「EPSON Photolier」 	「RAW 形式」に設定して撮影した画像データ（RAW データ）を簡単な操作で現像するソフトウェアです。
Adobe Photoshop 用プラグイン「EPSON RAW Plug-In」 	「RAW 形式」に設定して撮影した画像データ（RAW データ）を、「Photoshop」を使用して現像するプラグインです。 プラグインが使用できる「Photoshop」は以下のバージョンのものです。 ・Adobe Photoshop 7.0 ・Adobe Photoshop Elements 2.0/3.0 ・Adobe Photoshop CS/CS2

注 意

- 上記の添付ソフトウェアでは、本機で撮影したRAWデータのみ現像することができます。
- Adobe Photoshop CS/CS2 に標準で提供されている RAW プラグインでは、本機の RAW データは現像できません。

使用可能なパソコン

付属のソフトウェアを使用できるパソコンは以下のとおりです。

現像アプリケーションソフト「EPSON Photolier」

	Windows	Macintosh
OS	Windows 98 SE/Me/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professional	Mac OS X v10.2 以降
メモリ	256MB 以上（1GB 以上推奨）	256MB 以上（1GB 以上推奨）
CPU	Pentium III 1GHz 以上 （Pentium 4 2GHz 以上推奨）	PowerPC G4 以上 （PowerPC G5 以上推奨）
ハードディスク	インストール：10MB 以上 動作用：500MB 以上	インストール：10MB 以上 動作用：500MB 以上
ディスプレイ	XGA （1024 × 768 ）以上、24bit カラー以上	1024 × 768 以上、16bit カラー以上（24bit カラー以上推奨）

Adobe Photoshop 用プラグイン「EPSON RAW Plug-In」

	Windows	Macintosh
OS	Windows 98 SE/Me/ 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional	Mac OS X v10.2 以降
メモリ	256MB 以上 （512MB 以上推奨）	42MB 以上のアプリケーションメモリ
ハードウェア	Pentium III 1GHz 以上 （Pentium 4 2GHz 以上推奨）	PowerPC G3 233MHz 以上 （PowerPC G4 1GHz 以上推奨）
ハードディスク	インストール：5MB 以上＊ 動作用：170MB 以上	インストール：5MB 以上＊ 動作用：170MB 以上
ディスプレイ	XGA （1024 × 600 ）以上、24bit カラー以上	1024 × 768 以上、32000 色以上
その他	EPSON RAW Plug-In が動作する Photoshop は以下のバージョンのものです。 ・Adobe Photoshop 7.0 ・Adobe Photoshop Elements 2.0/3.0 ・Adobe Photoshop CS/CS2	

＊ Photoshop のインストールには、別途空き容量が必要です。

インストール

現像アプリケーションソフト「EPSON Photolier」と Adobe Photoshop 用プラグイン「EPSON RAW Plug-In」のインストールを行います。

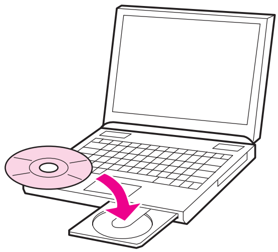
以下の手順でインストールします。

注 意

- Windows 2000 にインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。
- Windows XP にインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Mac OS X にインストールする場合は、管理者権限が必要です。パスワードの入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 「EPSON RAW Plug-In」を正しくインストールするには、あらかじめ Adobe Photoshop 7.0/CS/CS2、または Photoshop Elements 2.0/3.0 がインストールされている必要があります。
- アプリケーションソフトが起動している場合は、すべて終了してからインストールを行ってください。

1 ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする

インストールプログラムが起動します。



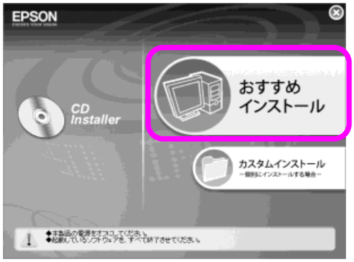
メ モ

- Macintosh の場合、デスクトップに表示される CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。



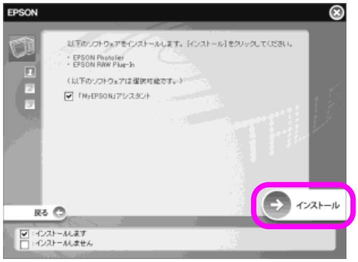
- Windows で、インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、［マイ コンピュータ］の中にある CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

2 [おすすめインストール]をクリックする



3 [インストール]をクリックして付属のソフトウェアをインストールする

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

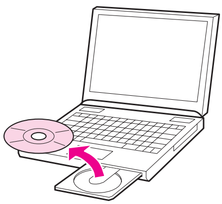


4 右の画面が表示されたら、[完了]をクリックする



5 ソフトウェア CD-ROM を取り出す

以上でインストール終了です。



メ モ

「MyEPSON」について
インストール終了後、デスクトップ上に、右のショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。
（「「MyEPSON」とは」 ☞ 139 ページ）



◆アンインストール

「EPSON Photolier」や「EPSON RAW Plug-In」が必要なくなった場合は、アンインストールします。

アンインストールの方法については、各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

「EPSON Photolier」のオンラインヘルプの起動方法については「EPSON Photolier オンラインヘルプの起動方法」（☞ 111 ページ）を参照してください。

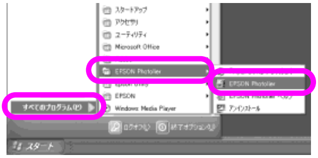
「EPSON RAW Plug-In」のオンラインヘルプの起動方法については「EPSON RAW Plug-In オンラインヘルプの起動方法」（☞ 112 ページ）を参照してください。

ソフトウェアの起動方法

◆ EPSON Photolier の起動方法

現像アプリケーションソフト「EPSON Photolier」は、以下の方法で起動します。

Windows



[スタート]－[すべてのプログラム](または[プログラム])－[EPSON Photolier]－[EPSON Photolier]の順にクリックすると、「EPSONPhotolier」が起動します。

「EPSON Photolier」の使用方法については、オンラインヘルプを参照してください。
(「EPSON Photolier オンラインヘルプの起動方法」☞ 111 ページ)

Macintosh

[アプリケーション]フォルダー[EPSON]フォルダにある[EPSON Photolier]アイコンをダブルクリックすると、「EPSON Photolier」が起動します。

「EPSON Photolier」の使用方法については、オンラインヘルプを参照してください。
(「EPSON Photolier オンラインヘルプの起動方法」☞ 111 ページ)

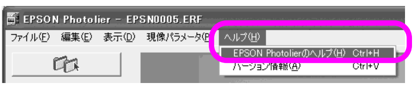
メモ	インストール後最初に起動したときは、[ライセンス]画面が表示されます。 画面の記載内容を確認し、[同意する]をクリックしてください。オープニング画面に続いて、メイン画面が表示されます。 [同意しない]をクリックすると、「EPSON Photolier」は起動しません。

◆ EPSON Photolier オンラインヘルプの起動方法

「EPSON Photolier オンラインヘルプ」には、「EPSON Photolier」の使用方法が記載されています。

「EPSON Photolierオンラインヘルプ」は、Windows も Macintosh も以下の方法で起動します。

[ヘルプ]メニューから[EPSON Photolier のヘルプ]を選択すると、「EPSON Photolier オンラインヘルプ」のトップページが表示されます。



◆ EPSON RAW Plug-In の起動方法

Photoshop 用現像プラグイン「EPSON RAW Plug-In」は、Windows も Macintosh も以下の方法で起動します。

Photoshop で[ファイル]メニューから[開く]を選択し、現像したい RAW データ(ERF ファイル)を開くと、「EPSON RAW Plug-In」が起動し、RAW データが表示されます。

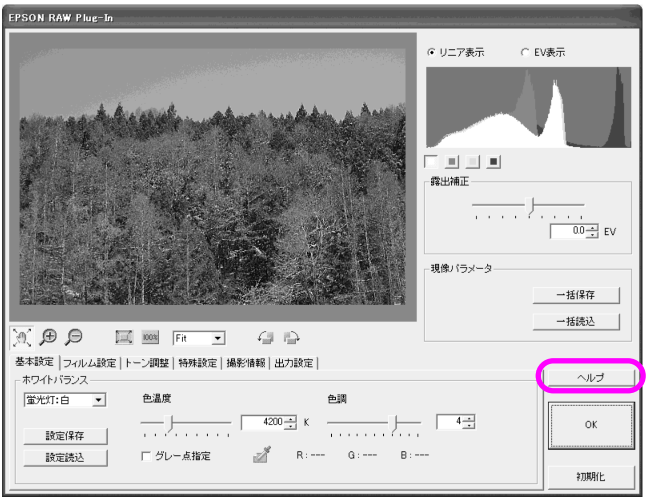
「EPSON RAW Plug-In」の使用方法については、オンラインヘルプを参照してください。(「EPSON RAW Plug-In オンラインヘルプの起動方法」☞ 112 ページ)

◆ EPSON RAW Plug-In オンラインヘルプの起動方法

「EPSON RAW Plug-In オンラインヘルプ」には、「EPSON RAW Plug-In」の使用方法が記載されています。

「EPSON RAW Plug-In オンラインヘルプ」は、Windows も Macintosh も以下の方法で起動します。

EPSON RAW Plug-In 画面の[ヘルプ]をクリックすると、「EPSON RAW Plug-In オンラインヘルプ」のトップページが表示されます。



7 章 こんなときは

長期間使用しないときは

長期間使用しないときは以下のように保管してください。

■バッテリを取り外す

長期間お使いにならないときは、バッテリを取り外してください。取り付けたままにしていると、過放電によりバッテリが使用できなくなることがあります。

■磁気や電磁波の影響を受ける場所に置かない

強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で保管しないでください。データが壊れたり消失することがあります。

■使用しないときのデータについて

長期間お使いにならないときは、以下の点にご注意ください。

日付と時刻	バッテリがなくなってから数日経過（環境条件による）すると、日付と時刻はリセットされ、購入時の設定（2006.01.01　00：00）に戻ります。（SD メモリーカードが挿入されているときは、「SD メモリーカード内の最後に撮影した写真の日時の 2 秒後」となります。）
メモリーカード内のデータ	バッテリがなくなっても、保存している画像データは消えません。次回、電源を ON にすると前回の状態で表示されます。
撮影設定と基本設定	撮影設定と基本設定（日付と時刻を除く）は、バッテリがなくなっても保持されます。

お手入れするときは

良好な状態でお使いいただくために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

◆本体

電源がOFFになっていることを確認し、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

注 意
ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールなどを染み込ませた布で拭かないでください。本体表面の文字が消えたり、本体が色落ちすることがあります。

◆充電器

電源コードが抜かれていることを確認し、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。バッテリや充電器の端子が汚れている場合は、端子部を乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

注 意
ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールなどを染み込ませた布で拭かないでください。本体表面の文字が消えたり、本体が色落ちすることがあります。

◆液晶モニタ

電源がOFFになっていることを確認し、中性洗剤を染み込ませてしっかり絞った柔らかい布で軽く拭いてください。

注 意
ティッシュペーパー、乾いた布、中性以外の洗剤は使用しないでください。液晶モニタの表面に傷がつき、表示が見にくくなる可能性があります。

◆ CCD センサ

CCDセンサにホコリやゴミが付着した場合は、以下の手順で清掃してください。清掃にはカメラ用のブロアー(手動式でブラシの付いていないもの)、およびロック付きのケーブルレリーズを使用します。

注 意

- 市販のエアスプレーは絶対に使用しないでください。スプレー内に入っている細かい液体が CCD センサに付着して症状がひどくなる場合があります。
- CCD センサを手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。表面に傷がつき、撮影データに支障が出る可能性があります。
- ブロアーはレンズ取り付け部より内側に入れないでください。シャッターが閉じたときに、シャッターや CCD センサを損傷することがあります。
- 下記以外の清掃方法による本機の故障および破損の修理は、保証期間内であっても保証範囲外となり、有料となります。また、下記の手順で清掃できない場合や下記の手順で清掃を行ってもホコリやゴミが取り除けない場合は、エプソン修理センターまでご連絡ください。(裏表紙参照)

1 **本機から SD メモリーカードを取り出す**

SD メモリーカードを取り出すことにより、CCD センサに通電しなくなります。

2 **シャッター速度ダイヤルを「B」(バルブ)に合わせ、ケーブルレリーズを取り付ける**

3 **残量が十分あるバッテリを入れて、電源を ON にする**

劣化していたり、残量が不足しているバッテリは使用しないでください。清掃中にシャッターが閉じることがあります。

4 **シャッターチャージレバーを操作する**

5 **レンズまたはレンズ部カバーを取り外す**

6 **ケーブルレリーズでシャッターを開放し、ロックする**

清掃中にシャッターが閉じることがないよう、必ずロック付きのケーブルレリーズを使用してください。

7 **CCD センサについたホコリをカメラ用のブロアーで慎重に吹き飛ばす**

8 **清掃が終了したらケーブルレリーズのロックを解除し、シャッターを閉じる**

9 **レンズ、またはレンズ部カバーを取り付け、ケーブルレリーズを取り外す**

以上で清掃は終了です。

故障かな？と思ったときは

本機の操作などに問題があるときは、液晶モニタにメッセージが表示されます。このときは、液晶 モニタのメッセージに従ってください。(☞ 126 ページ)

メッセージが表示されず、「故障かな？」と思ったときは、修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しないときは、故障している可能性がありますので、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。(裏表紙参照)

こんなときは		こうしてください
電源	電源が入らない	バッテリが正しくセットされていますか？ バッテリの向きに注意して正しくセットしてください。（☞ 20 ページ）
		バッテリ残量は十分にありますか？ バッテリ残量が少なくなると、電源が入らないことがあります。バッテリを充電してください。（☞ 18 ページ）
	しばらくすると電源が OFF になってしまう	節電機能が働いていませんか？ 節電移行時間を確認してください。（☞ 83 ページ）
		バッテリ残量は十分にありますか？ バッテリ残量が少なくなると、電源が OFF になることがあります。バッテリを充電してください。（☞ 18 ページ）
	バッテリの消耗が早い	バッテリの寿命ではありませんか？ 新しいバッテリをお買い求めください。（☞ 21 ページ）
アクセスランプ	アクセスランプが点滅しつづけている	「SD カードエラー」が発生しています。液晶モニタを表向きにして □ を押し、エラーメッセージを確認してください。
		対応していないメモリーカードを使用していませんか？ 液晶モニタを表向きにして □ を押し、エラーメッセージを確認してください。 ※本機では、MMC（マルチメディアカード）は使用できません。

こんなときは		こうしてください
撮影	撮影・記録できない	電源が入っていますか？ 電源を ON にしてください。（☞ 30 ページ）
		シャッターチャージレバーを操作していますか？ シャッターチャージレバーをしっかり操作していないと、撮影ができません。（☞ 56 ページ）
		SD メモリーカードはセットされていますか？ 本機は SD メモリーカードをセットしなくてもシャッターを切ることができますが、SD メモリーカードをセットしないと画像は記録されません。（☞ 28 ページ）
		SD メモリーカードがライトプロテクトされていませんか？ ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
		針式インジケータの撮影残枚数の表示が「0」になっていませんか？（SD メモリーカードの空き容量は十分にありますか？） SD メモリーカードの空き容量がなくなっていると、撮影できません。
	シャッターチャージレバーが操作できない	シャッターチャージレバーは、一度操作するとシャッターボタンを押すまで次の操作はできません。
	シャッターが切れない（シャッターボタンを押しても撮影されない）	シャッターチャージレバーを操作していますか？ シャッターチャージレバーを操作しないとシャッターは切れません。（☞ 56 ページ）
		「SD カードエラー」が発生していませんか？ シャッターチャージレバーを操作した後、「SD カードエラー」が発生した場合は、エラーを解除しないとシャッターは切れません。（☞ 126 ページ）
		メモリーカードへの書き込み中はシャッターは切れません。メモリーカードへの書き込みが終了するまでお待ちください。
	ファインダーにシャッタースピードが表示されない	シャッタースピードを「B」（バルブ）に設定しているときは、シャッタースピードは表示されません。（☞ 62 ページ）

こんなときは		こうしてください
撮影	ファインダーが暗い	ファインダーの正面または背面が汚れていませんか？ ファインダーが汚れている場合は、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
	露出が合わない	本機は中央部重点平均測光方式のため、被写体の明るさによって露出補正が必要な場合があります。（☞ 52 ページ）
		AE 撮影で、露出補正が設定されていませんか？（☞ 54 ページ）
	二重像が表示されない	ファインダーの測距窓が汚れていませんか？ 測距窓が汚れている場合は、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
	レンズの距離リングを回してもファインダーの中の二重像が動かない	距離計非連動（目測式）のレンズをご使用の場合、二重像は動きません。それらのレンズをお使いの場合は、目測で距離を合わせて撮影してください。
液晶モニタ	液晶モニタに画像が表示されない	撮影モードのときは、液晶モニタに画像が表示されません。 画像を確認するときは、[▶] を押して再生モードに切り替えてください。（☞ 66 ページ）
		液晶モニタはしっかり反転させて表向きにしていますか？ 画像を確認するときは、液晶モニタをしっかり反転させてください。
	表示が暗い	液晶モニタの明るさを調整してください。（☞ 85 ページ）
	液晶モニタが見難い	太陽光が直接当たっていませんか？ 太陽光が直接当たっていると、液晶モニタが見難い場合があります。太陽光が直接当たらないように角度を変えてください。
	縦方向に線が入る	強い光を撮影していませんか？ 撮影時、撮影範囲内に強い光が入っていると再生した画像に縦方向の線が見えることがあります。この場合は、撮影範囲内に強い光が入らないようにしてください。
	液晶モニタに常時白い点や黒い点が表示される	一部に常時点灯または常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。

こんなときは		こうしてください
針式インジケータ	針がずれた	物理的な衝撃などを受けていませんか？ 物理的な衝撃を受けると針がずれることがあります。この場合は、針の位置を調整してください。（☞ 87 ページ）
	針が動かない	針が動いているときにバッテリを取り出していませんか？ 針が動いているときにバッテリを取り出すと、針が動かなくなることがあります。この場合は、エプソン修理センターまでご連絡ください。
再生	画像が再生できない	SD メモリーカードはセットされていますか？ SD メモリーカードがセットされていない場合は撮影済みの SD メモリーカードをセットしてください。
		他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
	液晶モニタに何も表示されない、または真っ白な画面が表示される	撮影した画像の露出はあっていますか？ 撮影時の露出があっていない場合、真っ黒な画像や真っ白な画像が撮影されていることがあります。
	画像が削除できない	画像を「保護」にしていませんか？ 「保護」を解除してください。（☞ 72 ページ）
		SD メモリーカードがライトプロテクトされていませんか？ ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
		画像データが壊れていませんか？ データが壊れている場合は、削除できません。パソコンで、壊れている画像データを削除してください。
	画像を「保護」に設定できない	SD メモリーカードがライトプロテクトされていませんか？ ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）

こんなときは		こうしてください
再生	画像が拡大できない	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像の場合、拡大表示できないことがあります。
	画像の詳細データが表示されない	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像の場合、画像の詳細情報は表示されません。
	人型のアイコンが表示される	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
		データが壊れていませんか？ データが壊れている場合は、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
	画像の両端に黒い帯が入る	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影した画像で、画像の縦横比が 3：4 の場合は、両端に黒い帯が表示されます。 （本機の画像の縦横比は 2：3 です。）
	SD メモリーカードに記録されている画像が表示（再生）できない	他機種で撮影された画像ではありませんか？ DCF 規格に準拠している場合、通常「DCIM」フォルダ内に「100EPSON」というフォルダが作成され、その中に画像データが記録されます。SD メモリーカード内に他社製カメラで撮影した画像データで「100 ＊＊＊＊」というフォルダがある場合は、どちらのフォルダの画像も表示（再生）されません。 この場合は、パソコンを使ってフォルダ番号が重ならないようにフォルダ番号を変更するか、同じ番号で始まるフォルダを SD メモリーカードから移動してください。 ※フォルダ名の「＊＊＊＊」は、カメラによって異なります。
	日付や時刻が正しく表示されない	日付や時刻は正しく設定されていますか？ 日付や時刻を正しく設定してください。（☞ 80 ページ）
	画像に添付した音声データが再生できない	他機種で撮影し音声を添付した画像ではありませんか？ 本機では、画像に音声を添付したり、添付された音声を再生することはできません。

こんなときは		こうしてください
画像	ぼけている、ピントが合っていない	被写体からの距離は正しいですか？ レンズの最短撮影距離を確認してください。レンズの最短撮影距離以下では、ピントが合いません。（レンズの最短撮影距離はレンズによって異なります。）
		レンズが汚れていませんか？ レンズが汚れている場合は、レンズの取扱説明書に従って清掃してください。
		レンズは正しく取り付けられていますか？ レンズがゆるんでいる場合は、レンズを取り付け直してください。（☞ 22 ページ）
		対応していないレンズを使用していませんか？ 対応していないレンズの場合、ゴーストやフレアなどが発生することがあります。
	画像の周辺が暗い	レンズによっては画像の周辺部が暗く写ることがあります。RAW モードで撮影している場合は、付属の現像アプリケーションソフト「EPSON Photolier」または Adobe Photoshop 用プラグイン「EPSON RAW Plug-In」を使用して補正するこができます。
設定	DPOF 設定できない	RAW モードで撮影していませんか？ RAW データは DPOF に対応していません。
		SD メモリーカードがライトプロテクトされていませんか？ ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
		針式インジケータの撮影残枚数の表示が「0」になっていませんか？（SD メモリーカードの残量はありますか？） SD メモリーカードの空き容量がなくなっていると、DPOF 設定ができません。
		JFIF データではありませんか？ JFIF データ（Exif2.21 に対応していない一般的な JPEG データ）は DPOF に対応していません。

こんなときは		こうしてください
メモリーカード	SD メモリーカードが使用できない	フォーマットされていない SD メモリーカードではありませんか？ 新しい SD メモリーカードの場合は、本機でフォーマットしてください。（☞ 99 ページ）
		SD メモリーカードが壊れていませんか？ 他の SD メモリーカードが使用できるかどうかを確認してください。他の機器でも使用できない場合は SD メモリーカードの製造元にお問い合わせください。 すでに撮影した SD メモリーカードで、他の機器で使用できる場合は必要に応じてデータの救出を行った後、本機でフォーマットしてください。（フォーマットを行うと、SD メモリーカード内の画像データは全て消去されます。） データの救出ができなかった場合や本機でフォーマットしても SD メモリーカードが使用できない場合は、SD メモリーカードの製造元にお問い合わせください。
		対応していないメモリーカードを使用していませんか？ 液晶モニタを表向きにして ▭ を押し、エラーメッセージを確認してください。 ※本機では、MMC（マルチメデイアカード）は使用できません。
	SD メモリーカードを完全フォーマットできない	バッテリが少なくなっていませんか？ バッテリが少ないと完全フォーマットを実行できません。バッテリを充電してから実行してください。（☞ 18 ページ）

こんなときは		こうしてください
充電器	充電できない	バッテリは正しく装着されていますか？ バッテリを正しく装着してください。（☞ 20 ページ）
		バッテリや充電器の端子が汚れていませんか？ バッテリや充電器の端子が汚れている場合は、端子部を清掃してください。（☞ 115 ページ）
		専用のバッテリを使用していますか？ EPALB1 を使用してください。（☞ 18 ページ）
		バッテリの寿命ではありませんか？ バッテリの寿命が考えられる場合は、新しいバッテリをお買い求めください。（☞ 21 ページ）
	充電ランプ（赤）が点滅している	充電ランプ（赤）が点滅している場合は、充電異常を示しています。バッテリの型番（EPALB1）を確認してください。また、端子部が汚れている場合は端子部を清掃してください。（☞ 115 ページ）

エラーメッセージ一覧

液晶 モニタにメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のように対処してください。
※エラーメッセージは、「A ～ Z、五十音（あ～ん）」の順に記載しています。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
DPOF 印刷合計枚数が 1000 枚以上です。	印刷合計枚数が 999 枚以下になるように設定してください。
DPOF 印刷合計枚数が 1000 枚以上のため、全コマ DPOF 設定できません。	「1 コマ DPOF 設定」で、印刷合計枚数が 999 枚以下になるように設定してください。
DPOF 設定できません。	他機種で撮影された画像ではありませんか ? 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
JFIF データのため、設定できません。	JFIF データ（Exif2.21 に対応していない一般的な JPEG データ）は DPOF に対応していません。
RAW データのため設定できません。	RAW データはDPOFに対応していません。
SD カードがフォーマットされていないか、サポートされていないフォーマットです。	SD メモリーカード内のデータが消去されても良いことを確認し、本機でフォーマットしてください。（☞ 99 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、フォーマットできません。	ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、解除できません。	ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、削除できません。	ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、設定できません。	ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、保護できません。	ライトプロテクトを解除してください。（☞ 27 ページ）
SD カードが入っていません	SD メモリーカードを入れてください。
SD カードに空き容量が無いため、設定できません。	SD メモリーカード内の不要なデータを削除してください。
SD カードエラー	他の SD メモリーカードを使用してください。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
画像を表示できません。	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
画像ファイルがありません。	SD メモリーカード内に画像データがありません。
拡大できません。	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像の場合、拡大表示できないことがあります。
“完全フォーマット” でフォーマットを実行してください。	本機で完全フォーマットしてください。（☞ 99 ページ）
削除できませんでした。	画像データが壊れていませんか？ データが壊れている場合は、削除できません。 パソコンで、壊れている画像データを削除してください。
サポートされていないメモリーカードが挿入されています。	SD メモリーカードを使用してください。
注意：JFIF データには DPOF 設定されません。	JFIF データ（Exif2.21 に対応していない一般的な JPEG データ）は DPOF に対応していません。
注意：RAW データには DPOF 設定されません。	RAW データは DPOF に対応していません。
注意：RAW データ及び JFIF データには DPOF 設定されません。	RAW データおよび JFIF データ（Exif2.21 に対応していない一般的な JPEG データ）は DPOF に対応していません。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
注意：SD カード内に同じ番号のディレクトリが存在します。	DCF 規格に準拠している場合、通常「DCIM」フォルダ内に「100EPSON」というフォルダが作成され、その中に画像データが記録されます。SD メモリーカード内に他社製カメラで撮影した画像データで「100 ＊＊＊＊」というフォルダがある場合は、どちらのフォルダの画像も表示（再生）されません。 この場合は、パソコンを使ってフォルダ番号が重ならないようにフォルダ番号を変更するか、同じ番号で始まるフォルダを SD メモリーカードから移動してください。 ※フォルダ名の「＊＊＊＊」は、カメラによって異なります。
注意：他の機器で設定した DPOF 設定を上書きします。	他機種で設定した DPOF 設定を上書きします。
保護されているため削除できません。	画像データが「保護」に設定されています。「保護」を解除してから削除してください。（72 ページ）

注　意　「SD カードエラー」、「SD カード未フォーマット」などが発生している場合でも を押すと撮影モードに切り替わりますが、撮影はできません。

8 章　付録

仕様

◆本体

■画像フォーマット

撮像素子	23.7mm × 15.6mm APS-C サイズ CCD センサ （原色フィルター）
有効画素数	有効画素数 6.1 メガピクセル
記録画像サイズ	CCD-RAW（12bit）：3008 × 2000 pixels JPEG：3008 × 2000 pixels ／ 2240 × 1488 pixels
記録フォーマット	Exif2.21 準拠、DCF2.0 準拠、DPOF1.1 準拠、PRINT Image Matching III 対応
記録メディア	SD メモリーカード（最大 2GB まで対応）

■光学系

ファインダー形式	実像距離計式等倍透視ファインダー
ファインダー倍率	1.0 倍 （完全等倍）
基線長	38.2mm （有効基線長：38.2mm）
距離計	二重像合致式 （連動範囲 0.7m 〜∞）
視野枠	28 ／ 35 ／ 50mm 対応ブライトフレーム切り替え式 パララックス自動補正機能
視野率	85%（3m 時）
ファインダー内露出表示	シャッター速度別 LED 切換表示 （AE 時、マニュアル時）

■レンズマウント

レンズマウント	ＥＭ マウント（ライカ社 M 型互換マウント） （アダプター〈コシナ社製〉により L マウントレンズも装着可）
接続可能レンズ	マウントからの深さ：20.5mm 以下
レンズ撮像画角比	35mm フィルムレンズ表記焦点距離換算比：1.53 倍 注意：沈鏡胴（沈胴式）レンズを装着した場合、レンズを押し込む（沈胴させる）ことはできません。無理にレンズを押し込んだり、又は、押し込んだ状態でカメラボディに装着しますと、ボディおよびレンズを破損させる恐れがありますので、押し込まない状態で、固定鏡胴としてお使いください。

■シャッター

シャッター	電気制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/2000 〜 1 秒、バルブ
シンクロ接点	X 接点 1/125 秒以下同調 （シンクロ撮影のみ対応）

■露出測光

測光方式	TTL 幕面ダイレクト実絞り中央部重点平均測光方式
測光範囲	EV 1 ～ 19 （ISO100 換算時）

■撮影機能

露出制御方式	絞り優先 AE、マニュアル （AE ロックボタンによる AE ロック機能）
露出補正値設定	－ 2.0 ～＋ 2.0EV（1/3EV 設定ステップ）（AE 時のみ）
ISO 感度	200 ／ 400 ／ 800 ／ 1600
ホワイトバランス 設定	撮像センサによる TTL 方式オートホワイトバランス オート、プリセット（晴天／日陰／曇天／白熱電球／蛍光灯）
撮影特性設定	標準、EPSON フィルム 1、2、3（ユーザー定義プリセット） （フィルム設定毎に画質特性をカスタム可能）
カラー設定	カラー、モノクロ モノクロフィルターワーク機能：（標準、グリーン、イエロー、オレンジ、レッド）搭載
RAW 設定	RAW、RAW ＋ JPEG（画像品質「R」での撮影時に、RAW と JPEG の両データを同時に記録）
色空間	sRGB、Adobe RGB
長時間露光ノイズ低減	低速シャッタースピードでの撮影時に発生するノイズを低減するよう設定可能

■表示

液晶モニタ	2.0 型低温ポリシリコン TFT カラー液晶（23.5 万画素） 明るさ調節 8 段階、視野率：99.7%
針式インジケータ	4 針式表示 （画像品質設定／ホワイトバランス設定／撮影残枚数／バッテリ残量）

■再生表示機能

画像表示	1 コマ表示、4 分割表示
撮影情報表示	ファイル名（フォルダ名、ファイル番号、形式)、撮影日時、画像番号（再生画像 No. ／総画像数)、画像サイズ、ホワイトバランス、シャッター速度、画像品質、フィルム設定、印刷マークと枚数、保護マーク、ISO 感度、カラーモード、色空間
画像解析情報表示	ヒストグラム表示機能、白飛び部分のハイライトブリンク表示機能、フレーミングガイド表示
拡大表示	1 倍～最大 16 倍の拡大表示 拡大箇所の水平・垂直移動表示機能

■再生時処理機能

ファイル削除	1 コマ削除／全コマ削除
ファイル保護	1 コマ保護／解除、全コマ保護／全コマ解除
DPOF 設定	1 コマ、全コマ（枚数設定 0 ～ 99 枚)
スライドショー再生	記録画像のスライドショー再生機能（再生間隔：約 3 秒) 順／逆方向再生選択可能

■機能設定

言語設定	日本語／英語／ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／繁体字中国語
USER ボタン割付	1 コマ削除、1 コマ保護、拡大モード、印刷モード、フィルムのうち 1 つを割付可能
節電機能	節電モード移行時間設定可能
SD メモリーカードフォーマット	SD メモリーカードのフォーマット機能
針式インジケータ調整	軍艦部指針式表示モジュールの各針位置調整機能
連番設定	撮影記録ファイル名の連番記憶選択可能
日時設定	時計計時機能あり（年／月／日／時／分／設定可能)
年月日表示設定	年月日／日月年／月日年
液晶モニタ明るさ調整	8 段階
輝点画素補正	CCD の輝点画素の位置検出・登録機能
クイックビュー	クイックビュー表示時間設定可能

■外観コネクタ

三脚ネジ穴	1/4（ISO1222）
アクセサリーシュー	シュー（ISO512）、シンクロ接点
レリーズソケット	シャッターボタン埋め込み

■大きさ

大きさ（W x H x D）	142.0 x 88.5 x 39.5mm （一部の突起は除く）
質量	約 560 g （SD メモリーカード、バッテリ、ネックストラップ、レンズ部カバー含まず）

■電源

専用リチウムイオンバッテリパック（EPALB1）1 個使用 （充電器〈電源コード付〉付）

■環境条件

温度	動作時：5 ～ 35 ℃、保存時：-20 ～ 60 ℃（非結露時）
湿度	動作時：30 ～ 80%、保存時：10 ～ 80%（非結露時）

■付属品

専用リチウムイオンバッテリパック（EPALB1）、充電器、ネックストラップ、取扱説明書、充電器用電源コード、レンズ部カバー、CD-ROM（EPSON Photolier、EPSON RAW Plug-In）

■別売りアクセサリー

専用リチウムイオンバッテリパック：EPALB1 ＊オープンプライス

◆バッテリ

■バッテリ

電池種別	専用リチウムイオンバッテリパック
型番	EPALB1
外形寸法（W × H × D ）	19.8mm × 20.4mm × 55.5mm
質量	35g
出力電圧	3.7V
容量	1500mAh
撮影可能枚数	撮影条件 1：約 900 枚 撮影条件 2：約 360 枚（CIPA 基準に準拠）

撮影条件 1）
電源 ON 後、1 分間に 6 枚を一定間隔で撮影し、電源を OFF する。電源 OFF 後、1 分間待って電源を ON し、上記サイクルを繰り返す。
このときフラッシュなし、シャッター速度 1/250、ISO200、JPEG（N）、WB 晴天固定。

撮影条件 2）
電源 ON 後、30 秒経過したら 1 枚撮影し、その後 30 秒ごとに 1 枚撮影する。10 枚撮影したら電源を OFF する。電源 OFF 後、電池を抜いて 10 分放置し、再度電池を挿入して電源を ON し、上記サイクルを繰り返す。
このときアクセサリーシューに装着したフラッシュは 2 回に 1 回フル発光、シャッター速度 1/125、ISO200、JPEG（H）、WB オート固定。

■充電器

型番	A281H
外形寸法（W × H × D ）	61mm × 28mm × 75mm
質量	約 100g
入力電圧	AC100V ～ 240V 、50 /60Hz
充電方法	定電圧、定電流方式
充電表示	充電中：赤色ランプ点灯／完了時： ランプ消灯

対応レンズ例

本機の EM マウントには、M マウント / VM マウント / ZM マウントレンズ群、L マウントレンズ群（コシナ社製「M- バヨネットアダプターリング」が必要）を装着することができます。以下に本機に装着できるレンズの例を記載します。

L マウントレンズ

名称	焦点距離	F 値	備考	本機での焦点距離
Ultra Wide Heliar［ウルトラワイドヘリアー］	12mm	F5.6	Aspherical 距離計非連動（目測式）	約 18mm
Super Wide Heliar［スーパーワイドヘリアー］	15mm	F4.5	Aspherical 距離計非連動（目測式）	約 23mm
Color Skopar［カラースコパー］	21mm	F4		約 32mm
Snapshot Skopar［スナップショットスコパー］	25mm	F4	距離計非連動（目測式）	約 38mm
Color Skopar［カラースコパー］	28mm	F3.5		約 42mm
Ultron［ウルトロン］	28mm	F1.9	Aspherical	約 42mm
Color Skopar［カラースコパー］	35mm	F2.5	Ctype	約 53mm
Ultron［ウルトロン］	35mm	F1.7	Aspherical	約 53mm
Color Skopar［カラースコパー］	50mm	F2.5		約 75mm
Nokton［ノクトン］	50mm	F1.5	Aspherical	約 75mm
Color Heliar［カラーヘリアー］	75mm	F2.5		約 113mm
Apo-Lanthar［アポランター］	90mm	F3.5		約 135mm

VM マウントレンズ

名称	焦点距離	F 値	備考	本機での焦点距離
Nokton［ノクトン］	35mm	F1.2	Aspherical	約 53mm
Color Skopar［カラースコパー］	35mm	F2.5	PII	約 53mm
Nokton classic［ノクトンクラシック］	40mm	F1.4	MC/SC	約 61mm

ZM マウントレンズ

名称	焦点距離	F 値	備考	本機での 焦点距離
Distagon T* [ディスタゴン　ティースター]	15mm	F2.8	Aspherical 距離計非連動（目測式）	約 23mm
Biogon T* [ビオゴン　ティースター]	21mm	F2.8		約 32mm
Biogon T* [ビオゴン　ティースター]	25mm	F2.8		約 38mm
Biogon T* [ビオゴン　ティースター]	28mm	F2.8		約 42mm
Biogon T* [ビオゴン　ティースター]	35mm	F2		約 53mm
Planar T* [プラナー　ティースター]	50mm	F2		約 75mm
Sonnar T* [ゾナー　ティースター]	85mm	F2		約 128mm

注　意

- マウントから20.5mm以上の外形寸法があるレンズは装着できません。
  ＜装着できないレンズ＞（ライカ社）
  ・HOLOGON 15mmF8
  ・SUPER ANGULON 21mmF4
  ・SUPER ANGULON21mm F3.4
  ・ELMARIT 28mm F2.8（最初期対象型）
- 沈鏡胴（沈胴式）レンズを装着した場合、レンズを押し込む（沈胴させる）ことはできません。無理にレンズを押し込んだり、又は、押し込んだ状態でカメラボディに装着しますと、ボディおよびレンズを破損させる恐れがありますので、押し込まない状態で、固定鏡胴としてお使いください。
  ＜沈胴できないレンズ＞（ライカ社）
  ・HEKTOR 50mm F2.5
  ・ELMAR 50mm F3.5
- 以下のレンズは、レンズに付属のファインダーが本機には適合しないため、使用できません。
  ＜使用できないレンズ＞（ライカ社）
  ・DR SUMMICRON 50mm F2

上記の原因による本機の故障および破損の修理は、保障期間内であっても保証範囲外となり、有料となります。また、上記の原因による他社製レンズの故障および破損に関しては、当社は一切の責任を負いません。

規制について

● **本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意**

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

● **著作権について**

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

● **電波障害自主規制について**

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

● **電源高調波について**

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

● **本製品の不具合に起因する付随的損害について**

万一、本製品(添付のソフトウェア等も含みます)の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えなかった場合、そのことから生じた付随的な損害(本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など)は、補償致しかねます。

MyEPSONについて

◆「MyEPSON」とは

「MyEPSON」とは、EPSONの会員制情報提供サービスです。

「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設(※1)してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

※1 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境(プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有)が必要となります。

ご登録いただいたお客様には、以下のようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのお勧め最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心&充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

◆すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『ソフトウェアCD- ROM』から簡単にご登録いただけます。(※2)

※2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱の「お客様情報カード＋正式保証書発行カード」(ハガキ)にてユーザ登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は当社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。(上記「MyEPSON」の特典は反映されません。)

今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「MyEPSON」の特典が提供可能となります。

サービス･サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス･サポートをご案内いたします。

◆インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
エプソンのホームページ：http：//www.i- love- epson.co.jp

◆ショールーム

エプソン製品を見て、触れて、操作できるショールームです。
所在地：裏表紙の一覧表をご覧ください。

◆保守サービスのご案内

「故障かな ?」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

正式保証書の発行とユーザー登録について

本製品には「お客様情報カード + 正式保証書発行カード」が同梱されています。

「仮保証書」欄は切り取って大切に保管し、「お客様情報カード + 正式保証書発行カード」の空欄に必要事項をご記入の上ご投函ください。記入された情報を元にユーザー登録と正式保証書の発行を行いますので、必ずご投函ください。登録情報は当社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。

また、正式保証書が届くまでの期間および郵送上のトラブル等で正式保証書が届かない場合の修理につきましては、仮保証書で対応させていただきます。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。

記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター（裏表紙の一覧表をご覧ください）
  受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払ください
ドア to ドアサービス	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

画像のバックアップについてのご注意

本製品の故障により修理を依頼される場合、バックアップが可能な状態であれば画像のバックアップを必ずお取りください。

修理状況によっては、画像が消失してしまうことや、画像を復元できないことがありますが、データの消失または破損については、責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル(取扱説明書)のPDFデータをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
<http://www.i-love-epson.co.jp/guide/camera/>

用語解説

以下に説明されている用語の中には、エプソン独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

● パララックス

パララックスとは、「ファインダーで決めた構図と実際に撮影される構図のズレ」(視差)のことです。レンズの位置とファインダーの位置が離れていることが原因で発生します。本機の内臓ファインダーにはパララックス補正機構がついています。

● AE 撮影

AE とは、Auto Exposure(オートエクスポージャー)の略でカメラが自動的に露出を調節する機能のことです。本機のシャッタースピードダイヤルを「AE」に合わせて撮影を行うと、設定した絞りに応じたシャッタースピードが自動的に決まり、最適な露出で撮影することができます。

● DCF 規格

DCFとは、カメラファイルシステム規格(Design rule for Camera File system)の略です。いろいろなデジタルカメラでの再生互換を目的として標準化された規格です。DCF対応のデジタルカメラ同士なら、他のデジタルカメラで撮影した画像でも自分のデジタルカメラで見ることができます。

● DPOF

Digital Print Order Format の略で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するための情報(印刷したい画像とその枚数指定など)を SD メモリーカードなどの記録媒体に記録するフォーマットです。

● Exif Print と PRINT Image Matching

Exif Print と PRINT Image Matching とは、この機能を搭載したデジタルカメラと対応プリンタを組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現することのできるシステムです。Exif Print 機能搭載のデジタルカメラで撮影すると、画像データに撮影シーンなどの撮影情報が付加されます。PRINT Image Matching 機能搭載のデジタルカメラで撮影すると、画像データにプリントコマンド(プリント指示情報)が付加されます。プリンタは、これらの撮影情報コマンドに従って印刷します。これにより、撮影時にデジタルカメラが意図したとおりの最適な色合いで印刷できます。Exif Print と PRINT Image Matching 両方の情報を持った画像データにおいて、どちらか片方だけの情報を有効にすることはできません。

● Exif Print

Exif Print は、新しく誕生したデジタルカメラの標準規格 Exif2.2 の愛称です。Exif Print では画像データに付加された撮影情報をもとに最適な色合いが決定されます。したがって撮影情報の解釈により、プリンタメーカーごと印刷品質に違いが現れます。

● PRINT Image Matching

PRINT Image Matching は、エプソンが提案し、デジタルカメラ各社から協賛を受けた仕組みです。また、PRINT Image Matching III は PRINT Image Matching の機能強化版です。PRINT Image Matching では、デジタルカメラからのプリントコマンドにより最適な色合いが決定されます。つまりデジタルカメラ側から印刷品質を制御する仕組みといえます。

本製品は PRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching III 対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

索引

商標について

Apple の名称、Macintosh は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本文中では、以下の名称を略記しています。

Microsoft® Windows®98 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows®XP operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98 、Windows Me 、Windows XP 、Windows 2000 と表記しています。また、Windows 98 、Windows Me 、WindowsXP 、Windows 2000 を総称する場合は「Windows 」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me 」のように Windows の表記を省略することがあります。

Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

SD メモリーカード、SD ロゴは、(株)東芝、松下電器産業(株)、米国 SanDisk 社の商標です。

商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF 」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。

DCF は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で標準化された「Designrule for Camera File system 」の規格略称です。

EPSON PRINT Image Matching は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Multi MediaCard は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標であり、MMCA (MultiMediaCard Association)へライセンスされています。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。